

219

無産少年運動

田部久著

613

45

3.18
内務省
6.5.1
訓第7.6
東京



1

0002623-000

613-45

社会科学ブックレット

白鳳社・編

白鳳社

第5篇

昭和6

AAE

この著作物は、著作権者不明のため、著作権法第67条の規定に基づき、平成12年3月2日付けで文化庁長官の裁定を受け使用するものです。

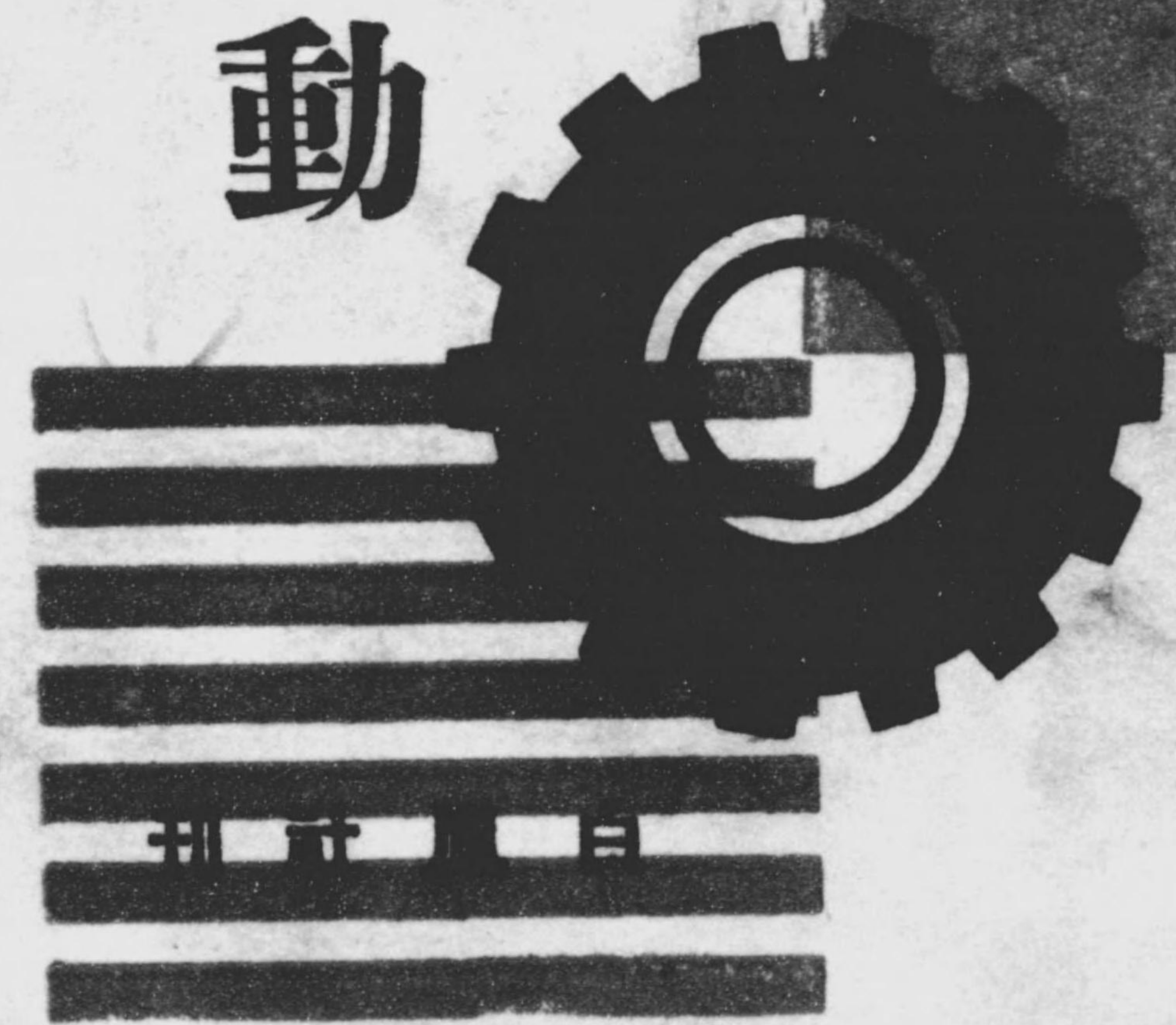
319

無産少年運動

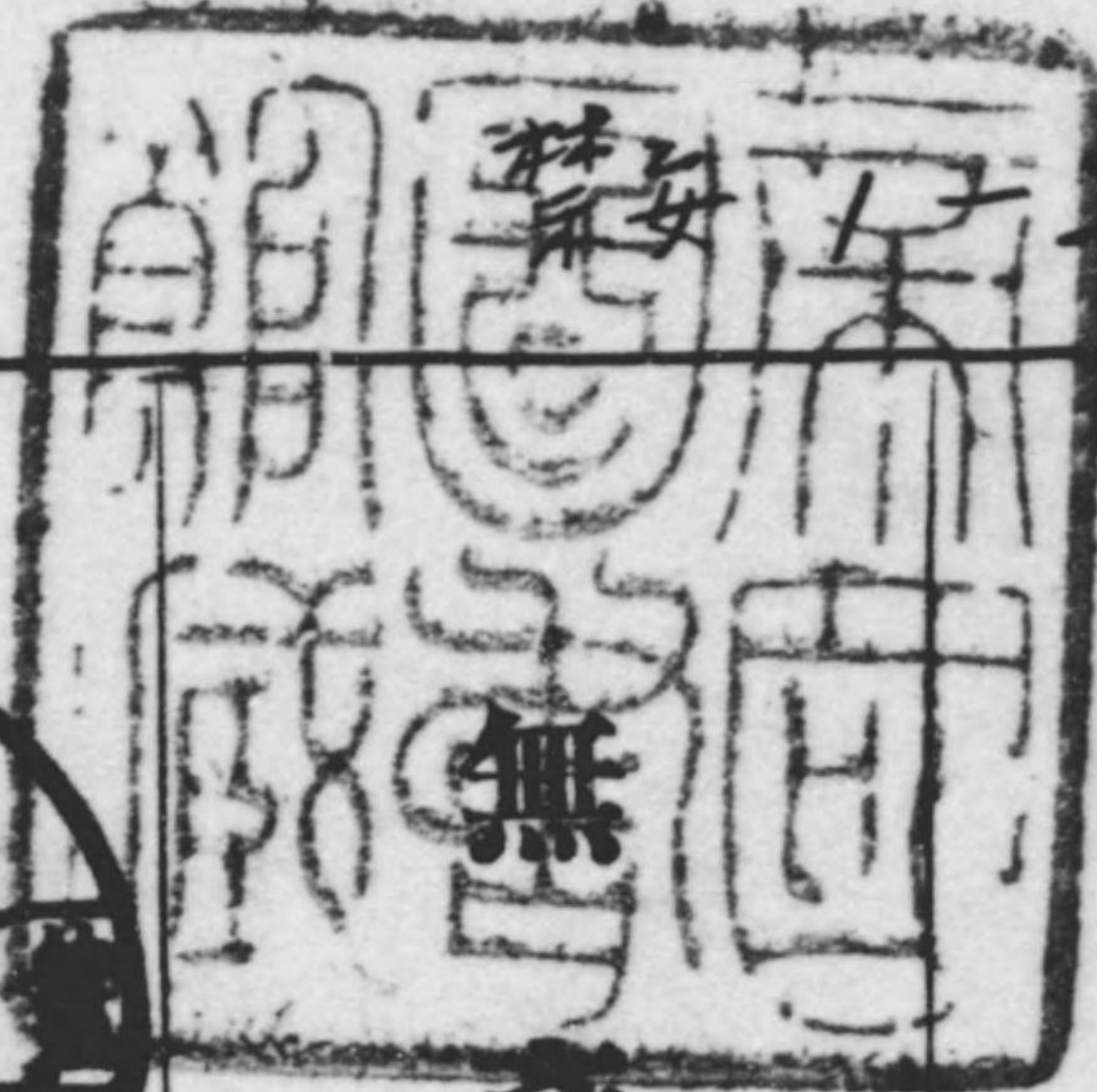
田部久著

613
45

3.18(19) 8
内務省
昭和 6.5.19
訓第706
東京



函	安寧
號	325
永久保存	



220



田部 久著

◇社會科學アツクレット第五編◇

座 少年運動

東京白鳳社刊



自序

少年労働、プロレタリア兒童・少年の問題は資本主義没落の三期にいたつてブルジョアジイの特に重要視するところとなつた。

此の事は、ブルジョアジイが没落の危機から逃んとする彼自らの利益のために、プロレタリア兒童・少年を發見（搾取の對象として）した事を意味するものである。

それ故に、ブルジョア教育學者は勤勞教育を強調し、學校に於いては、勤勞の美名の下に少年職業指導と産業の合理化を密接に結合させてゐる。

更に又、プチブル的社會改良家は、資本の没落期を以て「兒童の世紀」とよび、「社會改造は兒童から」なる標語をかゝけてブルジョアジイに追従する。

然し、プロレタリア兒童・少年の問題は、單にブルジョアジイの問題であり、彼等獨りの利益の對象でしかあり得ないだらうか、吾々は、プロレタリア少年の闘争が、益々尖鋭化しつつある労働者・農民の闘争の中に急速に生長しつつある事を見る事が出来る。そして吾々

は、プロレタリア少年のかゝる闘争がプロレタリア階級闘争の上に如何に重大な役割を持つものであるかを余りに多くをつてゐる。

まことに、プロレタリア少年の問題は、ブルジョアジーのかゝる攻勢、プロレタリア少年の自然發生的闘争の益々×化しつゝある現段階に於て、プロレタリアートの上に最も重要な、緊急な問題の一つであらねばならぬ。

かゝる時に於て、プロレタリア少年運動に關する歴史的文献の持つ役割も決して過少秤價されてはならない。殊に我が國に於いてはかゝる文献が殆んど絶無の状態である。

此の事が、薄識な、單なる少年問題研究の一學徒である著者をして敢て此の著をなさしめたのである。

甚だ未熟な研究であるが、諸君が少年運動を正しく理解し、研究される上に、一つの少なき礎石になるであらう事を信するものである。

讀者諸君の厳正なる批判を乞ふ。

一九三一年四月

田部 久

目次

第一章 少年運動の歴史的発展

- 一、資本主義社會と少年労働者……………一
- 二、少年運動に於ける根本的對立……………一〇
- 三、ボーイ・スカウト運動の歴史的発展……………一六
- 四、ピオニール運動の歴史的発展……………三

第二章 少年運動の任務、形態、方法

- 一、ボーイ・スカウト運動の任務、形態、方法……………五
- 二、ピオニール運動の任務、形態、方法……………五
- 一、ピオニール運動の意義、性質……………五
- 二、ピオニール運動の政治的任務……………五

*no, don't
young
electric cat*

三、ビオニール運動の教育的任務……………五九

四、ビオニール運動の組織の内容……………五九

五、ビオニール組織の基礎……………六〇

六、工場細胞について……………六三

七、ビオニール組織の活動方法、形態……………六四

第三章 少年運動の現状……………五三

一、世界恐慌とプロレタリア少年運動……………五三

二、ブルジョアの少年組織のファッション化と社会民主主義少年組織の成長……………五七

三、ビオニール運動の情勢……………五九

四、現段階に於けるビオニール運動の諸任務及び活動の諸問題……………五九

第四章 日本に於ける少年運動の諸問題……………九一

三二

プロレタリア少年運動の自然成長性とその三要素……………九一

一、学校に對する闘争……………九一

二、労働争議・小作争議への参加……………九三

三、水平運動に於ける兒童の闘争……………九四

二、プロレタリア少年運動に於ける意識的萌芽……………九九

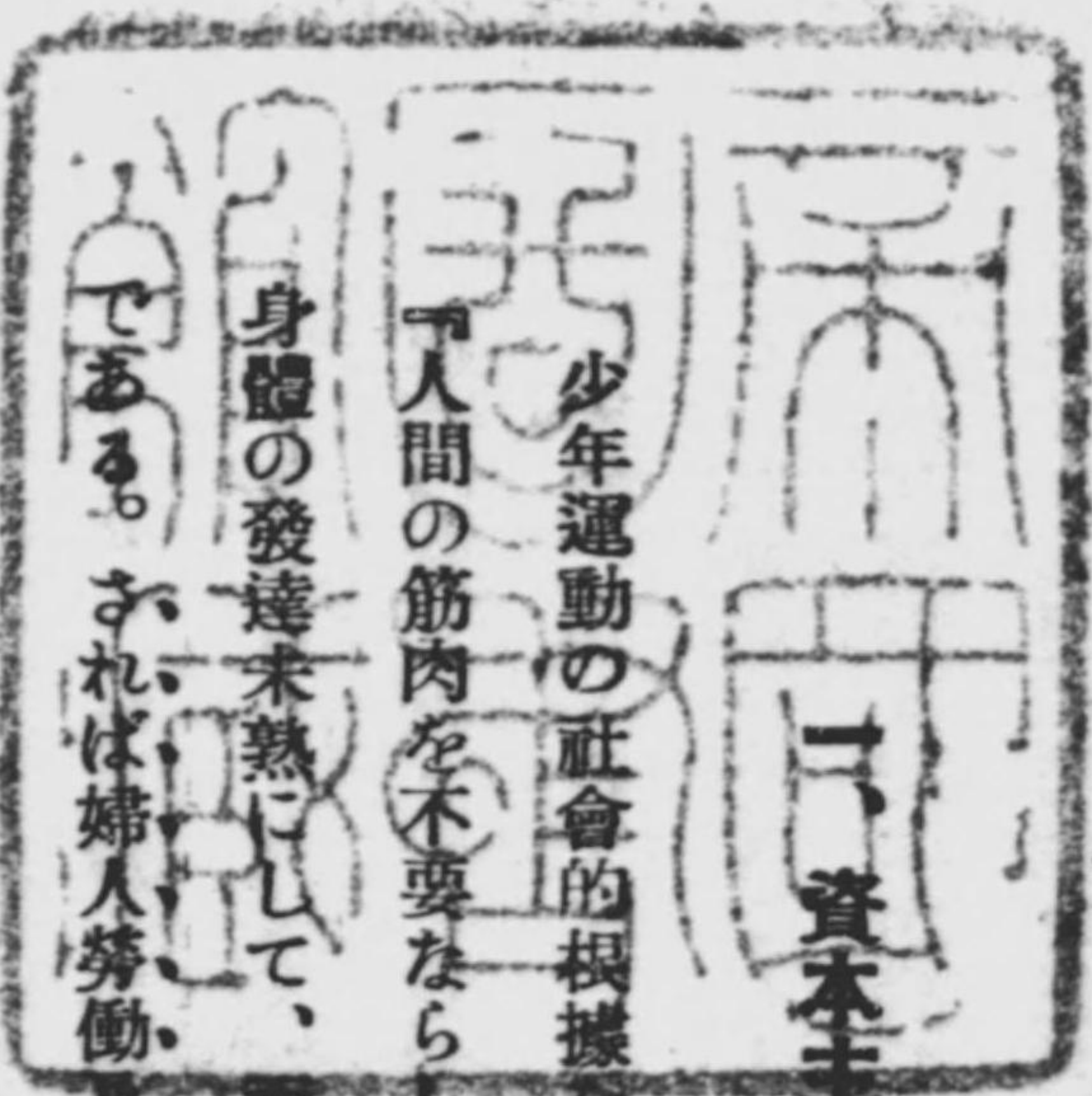
三、ブルジョア少年團の××××……………一〇〇

四、社会民主主義的少年組織の全国的結成……………一〇〇

無産少年運動

第一章 少年運動の歴史的発展

資本主義社會と少年労働者



少年運動の社會的根據を吾々は資本主義社會の發展過程に於いて見出すことが出来る。
人間の筋肉を不要ならしめる方面から觀察すれば、機械は筋肉なき労働者、換言すれば、
身體の發達未熟にして、而も四肢はもとより柔軟なる労働者を充用せしむべき主段となるの
である。されば婦人労働及び小兒の労働は、資本家的機械充用の最初の言葉であつた！ 勞
働及び労働者に對する此の巨大なる代用具は忽ちに老幼男女を問はず、労働者の一家を擧げ
て之を資本の直接支配の下に編入することに依り、賃銀労働者の數を増大する所の一段と

化した。資本家たちの強制労働は単に小兒の遊戯の位置を奪ふのではなく、又自家の必要の爲めにする自由な、合理的限界を越えざる家庭的労働の位置をも奪つてしまつたのである』

(マルクス「資本論」傍點は筆者)

プロレタリア兒童及び少年は、資本主義の輝かしき最初の出立から、機械の代用具として彼等の父兄とともに資本の直接支配下にあつてXとXに苦しんで來たのだ。従つてかゝる支配、かゝるX、壓迫に對するプロレタリア兒童及び少年の運動は労働者運動とともにその長き歴史を有するものである。

少年運動は資本主義社會の産みおとした、社會的産物である。それと同時に資本主義社會をXし更に階級を絶滅するX的運動となり得るのである。

かゝるが故にマルクスは、第一回インターナショナルのゲンフ會議の決議に於いて、少年を例へ、資本主義搾取の恐るべき犠牲を犯かしても生産的労働に従事せしむることを原則的に進歩的な正しいものとして認めたのである。

『吾々は、男女兒童及び少年者を、社會的生産の事業に協働するやうに引き入れんとする近

代工業の傾向を、たとへ資本の支配下に於いて此の傾向を實現しつゝある方法が恐るべきものであるにせよ進歩的な、有益な、そして正しい傾向なりと觀察する。

合理的な社會状態にあつては、成年に達せる者が、食ふことを得るために労働し、而も單に頭腦を以てするばかりでなく、手を用ひて労働するといふ自然の一般法則から除外されてはならぬと同様に、男女別なく九歳以上の凡ての少年は生産労働者たらねばならぬ。(マルクス・エンゲルス全集)

少年少女を社會的生産の作業に協力せしめんとする近代資本主義の傾向は、資本主義社會がX主義社會に發展する必然を暗示し、之を助長するといふ原則的なことと聯關して重大な意義をもつてゐる。即ち社會的労働に参加する少年少女は、社會的労働に参加することによつて、資本家との闘争の過程に於てプロレタリアートの階級意識をXするやうになり、遂にプロレタリアートの階級戦線の勇敢な闘士となることが出来るといふことである。かくの如く少年及び少女の社會的労働への参加は歴史を發展させる上に役立つものであるが故に、マルクスは近代工業のかゝる傾向を原則的に、進歩的な正しいものと認めたのである。

然るにブルジョア的な改良主義社會事業家は少年労働に關してプチ・ブル的人道主義的立場から、その救済保護を説き、少年労働を歴史的発展の上から根本的に認識することを怠りよつて資本主義の存続のためにその改良主義を以て奉任せんとしてゐる。

『産業革命の齎せる二つの社會變動は、徒弟制度の廢絶及び少年労働者の増加是なり。社會が少年労働者を保護するの必要を認めたるは今より約二十一世紀前に在り。英國に於て紡績機械の發明せらるゝや該機械は主として水力を利用せられたるを以て、其の工場は遠く人家を離れたる所に置かれたり。而して新發明に係る此の機械は少年に依りて操縦し得られたるが故に工場主は孤兒又は貧兒を雇ひ來りて職工として使用せり。幼年職工の住居は極めて粗雑なる「バラック」式の建物にして、其労働時間は一日十二時間乃至十六時間に達し、又食事衣服の不充分なるのみならず、一般衛生状態は非常に悪しかりき、而して負傷疾病の爲に倒るゝ者甚だ多かりしと謂ふ。此に於て此の悲惨なる状態に對し志士仁人の同情集まり遂に少年労働者保護法の制定を見るに至れり。尤も此の法律は未だ充分に少年保護の目的を達成する能はざりしを以て其後幾度か改正を加へらるゝに至れるも、兎も角少年労働者保護法の最

ある。初のものなりき(高田慎吾「兒童問題」一二八)

少年問題の大家たりし故高田氏は、少年及び少女の社會的労働に参加することに對して、その進歩的方面を認識されず、さりとて資本主義の少年労働者に對する苛酷なる搾取に對しても何等批判的態度にさへ出でられず、たゞブルジョア的法律の改良によつて、志士仁人の人道主義をもつて、少年労働者の保護の目的を達成されんと夢を見て居られるのである。

しかし、かゝる考へが、慈善事業的、宗教的欺瞞であり、プロレタリア少年の階級闘争を阻止せんとするアヘンのブルジョア的であることは云ふまでもない。

マルクスは近代工業のかゝる傾向を原則的には進歩的、有益なものとして認めるともブルジョアジーの苛酷な強制労働、搾取に對しては積極的闘争の必要を強調した。即ちマルクスは少年運動を近代工業の生む進歩的な××的な産物として充分に認めてゐたのである。

然るにブルジョアの社會改良家は近代工業のかゝる傾向に對してマルクスのそれと根本的に對立する考へを持つてゐる。

『一、少年労働は兒童の精神並に身體の發育を阻害する。』

二、少年労働は児童の教育を妨害する。

三、少年労働は業務に習熟すること能はず。』(高田慎吾「児童問題」一三三、引用文中の説明は必要なきにより略す。)

高田氏は少年労働を原則的に否定されてゐながら、その根本的基因をなす資本主義そのものに對して何等の批判、抗議をさへなされず、而も「その故に少年保護の必要」といふところでもない方へ問題をそらされ、それによつて問題の根本的解決を回避されてゐる。しかしこのことは消極的ではあるが資本の搾取の擁護であり、遂にプロレタリア少年運動に對する懐柔的ブルジョアジーの陰謀となり得るものである。

マルクスはブルジョアの改良主義の少年労働に對する態度に公然と對立した明確なる態度を示してゐる。

『賃銀を支拂はれる生産労働と精神的教化、肉體的教化、及び技術上の授業との結合は、労働者階級をより高き階級及び中間の階級以上に遙かに高めるであらう。』

此のマルクスの言は高田氏の少年労働に對する三ヶ條の名文と正に正反對の方向を示して

ゐる。

此の二つの對立は、マルクスが資本の少年労働者に對する搾取を認め、高田氏が資本の搾取に反對してゐることを意味するものではなく、寧ろその反對である。マルクスは原則的な考へから將來に對するかゝ豫言的なことを言つたのであつて、搾取を基礎としてゐる資本主義を讚美してゐるものでは斷じてない。然るに高田氏は原則的には少年労働を否定され、現實の資本主義の××しい搾取に對しては公然と目認され、その本質的缺陷を部分的改良に置換られ、社會の根本的××の代り部分的に改良を以てされてゐる。

このことは少年運動に對する兩者の態度を明瞭に表現してゐるものである。即ち前者が原則的には少年労働を進歩的な有益なものとして認めながら、労働少年に對する資本の搾取を除去することを強調しよつてプロレタリア少年運動を階級的闘争の線に迄押し進めて行くものであるに反して、後者は原則的に少年労働を否定することによつてプロレタリア少年の階級闘争を否定せんとするものである。

かゝる一聯のブルジョアジーの御用的社會改良家と、他に一聯の御用學的教育家、

ブルジョア教育家の代表者エレン・ケイ女史は資本主義の隆盛を極めたる帝國主義時代を『兒童の世紀』といふ美辭や『兒童王國の出現』等の麗句をもつて賞讃してゐる。かゝる人々は『兒童の社會的進出』や『兒童の發見』について口を多くして語つてゐる。

しかるにそれは、兒童が社會的生産の中に這り込むに至つて、始めて社會的利害關係の對象となり、従つて資本の搾取の對象となつたことを、そして資本の繁榮を讚美してゐるものに外ならぬ。まさにそれ以外の『兒童の發見』である筈がないのである。

又彼等は『社會改造は兒童から』といふブルジョアジエの喜びさうな標語を強調してゐる。だが、彼等の『社會改造』とはX、X、社會のことであり、搾取の最も自由な社會である。彼等の『社會改造は兒童から』といふ説に對してヘルンレは彼の著書『プロレタリア教育の根本問題』において左の如き批評をなしてゐる。

『彼等が未來の人間を作る學校と考へる彼等の實驗學校は、頼りない兒童の群を日毎に、否一時間毎に壓へつけ、XXXXXXXXXXXXXする大きな大洋の中に極く小つぽけな島に過ぎないのである。』

彼等の『社會改造』はかくの如く彼等の兒童の教育に於て全く曝露されてゐるのである。

かくの如くブルジョアジエを代表し、代辯するあらゆる社會事業家、教育家達は兒童の問題をかくまで重要視し、そのブルジョアの對策を練つてゐるのである。

全く兒童は今や社會的利害關係の對象となつたのである。従つてこの事は兒童の生産過程に於ける新しき地位、社會的に演ずる役割を充分に暗示してゐるのである。

大都市に於けるプロレタリアートの兒童は、その父兄と困苦を共にし、賃銀労働や労働時間のことについてその両親から聞き、飢餓と失業の恐しさを教へられる。又職業に従事してゐる兒童は、X、Xを意識し、工場氣氛と共に階級闘争の雰圍氣を呼吸する。たゞそれのみではない。プロレタリア兒童はその父兄のX、Xに参加し、斥候や傳令の役割を果たし、又工業労働や農業労働に従事してゐる少年達は、大人の助けもからずに、獨りで盟休を組織して資本に對して闘争してゐる。殊にソヴェート・ロシアに於いては、十一歳乃至十二歳の小學兒童はX、Xの戦線に勇敢に参加し、英雄的行動をなしたのである。

プロレタリア兒童の學校に於ける自發的なストライキと同様に農業及び工業の中で搾取さ

れてゐる兒童の自發的なストライキもまたその長き歴史を持つてゐる。だがそれは長い間自然發生的姿を持つてゐた。しかし世界各國に於けるプロレタリア兒童及び少年の運動は勞働者階級の意識的指導によつて次第に組織的に行はれ、全プロレタリアートの××××××××として展開されんとしてゐる。

まことにプロレタリアートは社會改良家の言ふ如く、その兒童を家庭や慈善的社會事業の保護のために工場、職場、農場から引き戻すべきではない。プロレタリアートは自分自身の將來のためにも、又彼等の兒童自身の現在及び將來の生活のためにも、彼等の兒童を工場、農場に送り込み、彼等の接實なる要求を支持し、指導し、明白な意識にまで導かねばならぬし又導くであらう。

二、少年運動に於ける根本的對立

少年運動に於ける二つて根本的に對立する方向は、プロレタリアートの少年運動とブルジョアジのそれである。而して階級對立がますます一單純化し、×××するにつれて、少年運

動も又敵對する二つの陣營に於いて發展し、ますますその特質を發揮するに到るのである。

現在、民主主義的少年運動及び宗教的少年運動がこの對立する二つの運動間に介在してゐるが、それらは、階級闘争の尖鋭化につれて、次第に社會進展の推進力の前にその何れかへ解消して行くものである。

まさに此の二つの對立は×色ビオニール運動と白色ボーイ・スカウト運動の對立以外のものではない。

×色ビオニール運動と白色ボーイ・スカウト運動はまずその目的に於いて根本的に對立するものである。

×色ビオニール運動の目的が支配的ブルジョアジの搾取とテロルに對する、搾取され壓迫された階級の解放のための闘争であり、プロレタリア××のためであり、×××建設のためであるのに反して、白色ボーイ・スカウト運動の目的は、實にプロレタリア少年大衆を搾取階級の目的下に從屬せしめ、支配階級の存続のために神及び國家を尊敬する善良なる忠僕を養成する××主義的なものである。前者が××××××的精神を基礎としてゐるのに對

して、後者は明かに××主義、宗教的、従つて資本主義的精神を基礎としてゐるのである。

ボーイ・スカウト運動は資本主義的線に沿ふ幾多の種類の方角を示してゐる。例へば軍事的ファシスト的組織、中立的スポーツ團體、キリスト教的組織やカトリック的少年組織、社會民主主義的少年組織等々である。

此のファシスト的少年組織から社會民主主義に至る迄の少年組織・運動は、プロレタリア少年を××するためのものであるに拘らず、そのブルジョアの目的からして、×色ビオニール組織・運動とは原則的に異つた立場を持つものである。殊に社會民主主義的少年組織は××主義的組織の初期のものであるかの如き感じを抱かしめる點に於いて最もすぐれたるブルジョア組織といは×××××。

社會民主主義的少年組織（例へばドイツに於ける赤色鷹ロイテラフエグの如き）の用ひてゐる新しい方法は、××主義的少年組織の用ひてゐる方法に全く一致して居り、且、具體的に適合してゐるし、而もこれらの新しい方法は、ブルジョアジーに取つては、それを適用することを必要であると考へられても、決して適用出来ないのである。

この事はプロレタリア少年獲得のための闘争の×××と少年大衆の左翼化との表現にすぎないのであつて、社會民主主義的少年組織が、社會民主主義的青年組織と同様に××主義的のそれと同一視させることによつてプロレタリア少年をブルジョア側へ奪ひ去らうとする欺瞞的、ブルジョアジーの別動隊であることを證明するものである。

×色ビオニールと白色ボーイ・スカウトはその組織形態及び活動の方面に於いても全く異なる要素を持つて居る。このことについては別章に於いて委しく述べるとしても、××主義少年の組織は××主義的青年組織及び××黨の組織と有機的に結合し、黨及び×××××によつて指導されるプロレタリア少年のより廣汎な組織であるのに對して白色ボーイ・スカウト・の組織は、全く支配階級によつて指導された、而もプロレタリア少年を獲得し組織するものであるにかゝはらず、ファシズムが支配を掌中に收めたイタリー以外の國に於いては多數のプロレタリア少年を獲得し組織することが出来ず、依然として中間層の少年を組織してゐるのに過ぎないのである。又白色ボーイ・スカウトは現實逃避的ロマンチックな要素を持ち、労働者運動の故郷たる大都市から逃避し、原始森住居生活を讚美し、あこがれ、その活

動の方面に於いても常に現實から遊離した無意義な遊戯を永續してゐるのに對して、×色ビオニール運動は全然リアリティクな現實的實踐であり、プロレタリア少年をしてそのプロレタリア的在來の貧窮と野蠻から方向を轉ぜしめんとするものでも、又印度人、北米捕獸業者、濠洲ニグロの原始的、野蠻的生活を讚美させ模倣させようとするものでもない。

×色少年ビオニール運動はプロレタリア少年にそのプロレタリア的環境を意識させ、××主義的行動を通してプロレタリアートの階級闘争へ透導せしめるものである。その活動的方面に於いても、プロレタリアートの現實生活から遊離したロマンティックな牧歌的遊戯を永續せしめるものではなく、子供らしき遊戯と眞面目なる實際的な階級闘争との結合に於いてなされるのである。『×色少年ビオニール運動に於いて遊戯は決して革命的少年運動の基礎として役立つものではない。その活動の重點はむしろ社會的生活に、又労働階級の闘争と建設事業に、子供を参加せしめることにおかれなければならないのである』(『ソートン・ソッウェー・ト・ロシアのビオニール運動』一九)

次に×色少年ビオニールと白色ボーイ・スカウトの要求する倫理・訓練について一言せぬ

ばならぬ。

ボーイ・スカウトの要求する倫理は形式的、形而上學的なものである。即ち「一人づゝ又は二人づゝボーイ・スカウトを送れ、各人が勤務を證明し、歸つた際その事件の様子を報告するために」といふが如き全く形式的、無意味なものである。然るに×色ビオニールの勤務や、その救援活動と義侠的行爲にとつては、一人づゝとか二人づゝとかいふ或る個人が問題ではなく、畢竟、プロレタリア階級全部とか、プロレタリア階級闘争の犠牲者全部が問題となり得るのである。即ちボーイ・スカウトに於ける如く、ある個人を救助するのではなく、プロレタリア階級の××のために、闘争しつゝある組合を援助するために、といふことになる。又その勤務についても、單に形式的無意味な報告としてではなく、その報告がプロレタリア階級闘争に直接役立つものとしてなされるものである。

我々は×色ビオニールと白色ボーイ・スカウトの組織形式や活動の方法とに於いて、可成の近似點を見出しながら、その本質に於いて全く相異なる相對立するものであることを認めなければならぬ。

三三、ボーイ・スカウト運動の歴史的発展

資本主義諸國に於けるボーイ・スカウトの組織は、今日十二歳以上の青少年二百萬以上を擁してゐる。イタリーに於いては七八九、九三七人以上の少年と、三六五、七八一以上の少女とを持つてゐる。即ち四千二百萬の人口に對して百十五萬五千七百のファシスト的ボーイ・スカウトは餘りにも莫大な數である。而もこの教育組織の方法は、教會青少年運動に於いても又社會民主主義的少年運動に於いても、その模倣が見出されてゐる。モルモン宗徒は特に、この教育組織から一種の宗教的ボーイ・スカウト運動を發展させたのである。又軍國的ボーイ・スカウト運動も至る所の國に於いて見出されるのである。

かくの如くボーイ・スカウトは世界各國に於いて、又あらゆるブルジョアのXX・教化運動に於いてXXXXXXとして發展しつゝあるのである。然らばボーイ・スカウト運動は如何なる社會的基礎のもとに發展し、又その方法が從來の資本主義的教育に對して革命的とまで言はれたか・我々はその歴史的発展に於いてその本質を究明しなければならぬのである。

る。

ボーイ・スカウト運動はイギリスのサア・バーデンパウエル將軍によつて起されたものである。我々は『パウエル將軍』といふXX主義的な響のする名を聞くだけでもボーイ・スカウトの何物であるかをおぼろげながらも頭に描くことが出来るのである。まことにバーデンパウエル將軍はXX主義以外のためにボーイ・スカウト運動を起したのではなかつたパウエル卿がこの運動を起した近因は、彼が南阿戰爭に於いて、メツキング町を防禦する任務を持つて部下の兵士を指揮してゐる間に於いて、彼の軍の死傷者が多く、そのため守備兵の不足を來たした。その結果、彼はほんの思ひつきの間に合はせに町の少年を傳令・斥候其の他の軍事上の仕事に従事せしめた所が、少年達はその與へられた仕事に對して非常な興味を持ち而も熱心にその仕事に従事したのである。このことを見たパウエル將軍は膝を打つて微笑し、これ等の職務が少年の熱し易き活動的な性情に適したるものと考へ戦時中は勿論、少年をかゝる仕事に組織的、計畫的に参加させ、活動させたのであるが、戦後に於いて彼はかゝる方法を基礎として、ボーイ・スカウト運動を起したのである。

(註) ボーイスカウト運動の近因に関する資料を少年團日本聯盟發行「列強の少年勇義團」より得た。

これに依ればバアデンパウエル將軍は明かにXX主義戦争のために、プロレタリア少年を發見し、青年とともに戰場に追ひ込んだのである。かゝる目的以外にはボーイ・スカウト運動は發見されなかつたのである。

かゝる軍國主義的な基礎のもとにバアデンパウエル將軍は全英國中にかゝる運動を捲き起しXX主義的少年組織を擴大したのである。然るにパウエル將軍が此の運動を起して間もなく、此の運動がXX主的に過ぐるといふ非難が起り、平和主義少年團が組織された。この平和主義少年團は根本的にXX主義少年團と對立するものではない事は、そのXX主義少年運動に對する非難を見ても明かである。即ち『XX主義に過ぐる』といふ非難であつて、XX主義の絶對的排撃ではなかつた。平和主義少年運動は善良なる市民主義を標榜する民主主義的傾向のものであつた。

その後列強はパウエル將軍が少年をブジョアジーの利益のために奉仕させることに成功した方法を其の國の國狀に適合する様に取り入れて種々の特色あるボーイ・スカウト組織を

作り上げたのである。即ち、

フランス——壯丁不足なる時に少年團から補充する目的を持つて

アメリカ——良市民の養成

イギリス——健全なる良市民の養成

ロシア——軍國主義のために

日——完全な一人を養成する(軍國主義に非ず圓滿な思想を持つ完全な一人を)

以上、揚けたる列強のボーイ・スカウトの設立趣旨はフランスロシアを除いては極めて抽象的である。

この列強のボーイ・スカウト創設趣旨に對する觀察は何等根據あるものではない。それは日本人の而も現今の日本の國際關係のもとに於いて利害關係を考慮されたる觀察である。この觀察に依ればフランスはその國土に比して兵力の乏きにより止むを得ざる事情であるといさゝかのXX主義に對する辯護をなし、ロシアに對しては明白なる軍國主義であると逆宣傳せんとするものである。イギリス、アメリカに對しては、その軍國主義を完全にXXして

れ、更に自國（日本）に對しては、抽象的言辭を以つて之を陰蔽するとともに「軍國主に非ず」といふ注意深き安全辨のことわり書を添へてゐる。然しこの觀察は單に列強に對する外交的挨拶以外の役に立つものではない。ボーイ・スカウト組織にかくしてある××主義内容は各國のボーイ・スカウトの誓文を見なくとも、日本人の外交的言辭に依らずとも吾々は世界大戰に於いて列強のボーイ・スカウトに演じさせた役割によつて彼等の××主義的陰謀を充分にバクロすることが出来る。かゝる明白な事實に對しては彼の外交主義者（前述の日本人）といへども認めざるを得ないのである。即ち彼は次の如き告白をなしてゐる。

『しかし、世界大戰によつて國家必然の要求は國民皆兵となつたので、少年團は事實上軍隊の補助機關となつたのである。』（列強の少年義勇團）

これと聯關して、平和主義的言辭や、平和主義的外被によつて少年の××主義化を陰蔽せんとする社會民主主義的少年組織が世界各國に於いて組織されたのである。彼等はその任務をブルジョアジーに比して巧妙に行ふのである。即ち社會民主主義少年團は平和主義的外被を着ることによつて、少年のプロレタリア的×色ビオニール組織に入ること及び××的行

動を防げるものである。

その他にキリスト教的ボーイ・スカウト及びその他の宗教的ボーイ・スカウトが最近に到つて急速に發展したのである。

即ちボーイ・スカウト運動は世界到る處に於いて、種々のブジョアの形態（××主義的平和主義、的民主主義的、宗教的）に於いて少年をブルジョアの支配下に組織せんとし、更にプロレタリア少年を自己の正しき階級的立場に立つことを極力防げんとしてゐるのである。

この事は彼等自身の言葉によつても明かに反映されてゐると思ふ。

『生活のための戦闘といふことが一層はけしい階級にあつては、遊戯はそれに比してさほど心を動かさない。遊戯といふのは十分に利益がないからである。明かにそれは將來の生活のために準備をするものではないからである。かゝる階級の子供にとつてこそこの時期において少年義勇團の運動は天の賜物である。』（「列強の少年義勇團」、傍點筆者）

ボーイ・スカウト運動は資本主義的列強内に於けるブジョアの少年獲得の運動に止らず更に國際的に發展し、その國際的結合、兒童の國際的會合、國際青年宿泊所等の傾向を有す

るのである。然るにかゝる種々の試みはプロレタリア少年を完全にブルジョアジーの支配下に組織することは出来ない。即ち少年の國際的會合（ヂャンボリー）には殆んどブルジョアジーの兒童が参加したことを見ても明かである。而もその國際的會合が單なる形式に終り、列國の外交的、有宣的會合に終り、何等實質的成果をもたらずものではなかつた。たゞ彼等は次の決議をくり返してゐるのみである。

『世界平和のために！ しかして戦時の場合は祖國のために！ 神と祖國に對してお互に自己の義務を遂行しよう。』

（註）ヂャンボリー第一回大會は一九二〇年ロンドンに於いて、ロンドン少年團の招待によつて開かれた、二十三ヶ國から約五萬八千の少年代表が参加し、自國の宣傳の一大デモンストレーションを歴史に残してゐる。

第二回はパリ、第三回はアメリカに於いて開かれた。

四、ビオニール運動の歴史的発展

×色少年ビオニール運動はすでに二十年の長い歴史を持つて居る。×色少年ビオニール運動は、ボーイ・スカウト運動とは全く別の異つた基礎から生まれたのである。それは資本主義發展に於ける少年労働の増加、従つて少年労働者の搾取の強化と、労働少年大衆の左翼化によつて生み出されたプロレタリア的運動である。その故に×色ビオニール運動は社會生活に、又労働階級の闘争と建設事業にプロレタリア少年大衆を参加させる目的のために起されたものである。まさに×色少年ビオニール運動はプロレタリアートの階級戦線の一翼としてプロレタリア少年大衆を之に参加させる運動に外ならぬ。

×色ビオニール運動發生の原因はその國によつて異つてゐる。ソヴェートロシアに於いては、社會主義建設のためとして起され、ソヴェートロシア以外の資本主義國に於いては、プロレタリア少年をその敵階級の實際闘争及び活動に参加せしめることのための運動として起されたのである。

×色少年ビオニール運動の歴史も又その國によつてその時代及び發展を異にしてゐる。ロシアに於いては、一九一九年青年同盟によつて起され、當時約四——五萬の團員をもつてゐる。

たボーイ・スカウト組織を利用することによつて企てられた。その後幾多の過程を経て、現在の如き三百五十萬以上の團員を擁するものになつたのである。その發展の主要段階を簡単に示せば次の如くである。

第一期——一九一九年以後、ソヴェート聯邦の全領域に亘つて、××主義的少年組織が自然發生的に設立された。それは少年運動を黨と青年同盟に模倣しようとする重大な誤謬を犯してゐた。又プロレタリア少年運動の基礎的問題に對して全然間違つたことがなされてゐた。即ち、

『プロレタリア少年運動の基礎として役立つべきものは子供の心理に適合した遊戯であり、更には労働階級の建設事業に、なかんづく、特に特徴的な瞬間や重要事件の際に、彼等を参加せしめることである。』といふふうにならされてゐた。

然るにこの基礎的な考へは暫時の活動と經驗の後に、その誤謬を發見され理論的に清算されたのである。即ち遊戯は決して××的少年運動の基礎として役立つものではなく、運動の重點はむしろ第二位にのべられた點、『社會生活に、又労働階級の闘争と建設事業に、子

供を参加させること』におかねばならないといふ事が認識された。

第二期——一九二三年ドイツに於ける革命的事件の際に、黨と青年同盟によつて指導されたカンパニアの成果に基くものである。それはドイツ労働階級を支持し、之との密接な連繫をつくり出すに至つたものである。ロシア労働階級の緊張と感激とを以つて行はれた當時のドイツの出来事の意義をばビオニール組織も又認識し、黨と青年同盟とのカンパニアに積極的に参加した。ビオニール運動が益々明白な組織形態をとり、その行動綱領を決定しはじめたのはこの時代である。

第三期——第二期の重要な段階後、全ビオニール組織は、ソヴェート國家の建設事業のために子供達の積極的な参加はたゞ特別な時機に於てのみならず、國の政治的生活上の日常の規則正しい活動に於ても亦必要なことを認識した。そのために青年同盟第六回大會——一九二四年七月に開かれた——に於ける少年運動のためにそのことが決議された。

第一期より三期に到る間、はずか三年の間に於いてビオニールは百二十萬を擁する廣汎な組織にまで發展したのである。

第四期——第六回大會の決議に従つて、之を實際的活動——主に子供たちの間に——着手し初めた時代である。

第六回大會の決議は、社會的——政治的生活に於ける子供達の活動の正しい方針をあたへたのであるが、その決議は、如何にして、又如何なる場所にこの活動を最もよく發展させ得るか、どこに活動の重點をおかねばならぬか、といふ實際的な指令が缺けてゐた。

第六回大會以後の経験から、ビオニール組織はその行くべき正しい方向を發見した。即ちビオニール運動の任務及び形態並びに活動の具體的方法が充分研究され、精力的に實踐に移されて今日に及んだのである。

(註) ツヴェイト・ロシアのビオニール運動の歴史に關しては殆んどツイリン著「ツヴェイト・ロシアのビオニール運動」によつたものである。

次に資本主義諸國間に於ける最大の少年組織を有するドイツに於いては一九二二年——一九二三年間にすでに三萬の成員を有してゐた。然るにドイツその他の資本主義諸國に於ける少年組織は最近まで×××主義的誤謬を持續した爲、客觀情勢の成熟しつゝあるにも拘はら

ずその組織が萎縮し、活動が不活潑になりその運動が後退する傾向をさへ示したのである。ドイツに於いては(一九二二年——一九二三年の間に三萬の成員を有してゐた)數年來組織がちりちりと衰微し、現在ではスバルタクス青年同盟は四千足らずに減じたのである。フランスでは少年組織は小グループに萎縮してしまひ、イギリスでは組織は殆んど消滅した。チェツコスルバキヤ、スエーデン、ノールウエー、アメリカ合衆國の少年組織はいづれも一千——二千の成員を持つのみである。即ちツヴェイト同盟及び支那を除いた全ての共產主義少年同盟の組織に組織されてゐる少年は二萬にまで減じてきたのである。

然し×色少年ビオニール運動のかゝる危機は(ツヴェイト同盟に於けるビオニール運動の危機は皆無である。)青年コミンテルンの第五回大會に於いて決議された方向轉換及びその後の一九二九年十一月——十二月に開かれた青年コミンテルン執行委員會總會の決議によつて此の退歩の原因が認識され、急速に清算されつゝある。

此の×少年運動の退歩の主要原因は、一九二九年十一月——十二月に開かれた青年コミンテルン執行委員會の總會に於けるフュルンベルグの報告に於いて充分に示されてゐる。その

報告の中に於いて彼は次の如く言つてゐる。

『一、わが青年組織は闘争活動を極く僅かしか遂行せず、更に又労働少年の利益のために闘ふことも僅かである。更にそれは、その活動を成年労働者の運動と結びつけること極めて少ない。それはプロレタリア少年から孤立してをり、又労働階級の闘争並びに××黨の闘争からさへ孤立してゐる。』

二、吾々は概して吸引方法の用ひ方を理解してゐない、吾々はビオニール自身の活動を昂揚させ、覺醒させることを理解してゐない、相對的に見るならば、小年組織に於ける生き生きとした方法の適用は、青年組織に於けるよりも遙かに劣悪である。而もかかる生き生きとした方法は、小年運動に於いては、遙かに多く應用されねばならないのである。現在少年運動に於いては、一般に青年の方法の機械的移入が行はれてゐるに過ぎない。

三、第三の根據は全く誤れる組織制度である。吾々の組織は學校××の上ではなく、街頭組織の上に作られてゐる。だが決定的な資本主義諸國では、吾々は學校××××する時のみ××ある活動をなし得るだらう。何故ならば吾々はそこでこそプロレタリア少年大衆を

捉へうるからだ。以上のことと、吾々が從來何等の補助組織を造らなかつたことは相關聯してゐる。

四、第四の根據は、吾々は少年運動に於ける指導者の問題に餘りに僅かしか注意してゐなかつたと言ふことである。指導者の問題は決定的な問題の一つである。若し吾々が眞に良き指導者を養成しないなら、吾々は何事もなし得ないであらう。假令吾々が他の三條件を満しても、それにも拘らず、良き指導者なくしては、吾々は大衆組織となり得ないであらう。勿論よき指導者とは正に他の三條件を満し得る人それ自身を指すのである。』

フュルンベルグのかかる正確なる報告は、××青年運動の少年運動に對する任務を明確にし、今後の活動の重點を充分に示してゐる。青年コミンテン執行委員會はその報告に基いて權威的な決議をなし、各國××青年運動はその決議に基いて、少年運動に對する認識を新たに持ち、更にその實踐に向ひつゝある。

こゝに於いて、決定的な資本主義諸國に於ける少年運動の危機は一掃され、近時に於いては、活氣ある運動が行はれ、比較的良行な活動の傾向が示されてゐる。

次にX色少年ビオニール運動の發展段階に於ける最も重要な意義を持つ、その國際的結合X色少年の國際的會合の歴史について述べねばならない。

此の國際的會合の意義は、益々切迫せる世界戦争（資本主義XX及びソヴェート同盟に對する戦争）の危機と戦ひ、全世界をプロレタリアートのXXにまで戦ひとる上に役立つといふ點にて非常な重要性を持つものである。即ちビオニール個々の結合は國際的にまで發展しなければならぬといふことはかゝる重要性を反映してゐるのである。

ビオニール第一大會

ビオニールの世界大會（スロツト）は、一九二九年八月十八日から二十六日迄モスコウで開かれたのが最初のものであつた。

この會の性質は、第一回全露ビオニール大會といふものであつたが、ソヴェート同盟以外の資本主義諸國やその殖民地からもビオニールその他の子供達が大數參加して事實上ビオニールの世界大會になつたのである。即ち、ドイツ、アメリカ、カナダ、イギリス、フランス支那、蒙古、ネグロの子供達、總數三百人が、八月二十三日、もとのクレムリン宮殿で勞働

者農民兒童第一回世界大會を開いたのである。世界各國から集つてきたビオニールを分類して見ると、資本主義諸國から六十人、ソヴェート・ユニオン内の各共和國から百四十人、ロシアの子供七十人、イタリー、ブルガリア、ルーマニヤその他の白色テロの國から御客として四十人である。

此の會議に参加した世界各國のビオニール達は各自の國にけるプロレタリア少年の生活と各自のXXの經驗を語り合ひ最後に全員一致で、大人の同志達と協力して飽くまでもプロレタリアートの祖國XXXXXXを守り、各自の國の資本主義と徹底的にXXXXXを確く誓つたのである。

第二回大會

スロツト第二回大會は、ドイツの重要工業都市の一つであるハレルで、一九三〇年七月二十三日から二十七日間にわたつて開かれる事になつてゐるが、ハレル市の市長及び市會の官僚どもと、社會民主主義者のXXが協力して、同市で開かるべき大會を禁止しようとした。そして遂に警察は『不潔な勞働者、農民の子供が澤山集つて來ると傳染病その他病菌や害虫

を漫延せしめる危険があり、ハレル市民の衛生上憂ふべき事を惹き起す恐れがあるから』といふ理由で同市に於ける開催を禁止してしまつた。そのために××青年同盟は、更に會場をベルリンに変更せざるの止む得くされた。

×××の勢力の強いベルリンでは、さすがの××も大會を禁止することが出来なかつた。然しあらゆる方法で之を妨害せんとした。

二十三日は、ベルリン全市の七つの大會場で、プロレタリア兒童歡迎の大衆的集會が催された。

二十四日に盛大なる開會式があり、同日の午後から會議に移つた。

ドイツ×××××にすぐ近いカイザア・ウキヘム街のムジイカア・ゼーレの二階の廣間で午後二時すぎから世界會議が開かれた。各國からのビオニール代表六百人が参加した。その會場に揚げられたスローガンは、労働者農民の子供達の第二回世界大會の決議を實行しろ！プロレタリア兒童の國際的連帯心への教育、ソヴェート・ユニオンの解放された子供達を守れ！

支那から手を引け！×××の子を守れ！
等々であつた。

各國のビオニール代表は、自國に於けるプロレタリア少年の生活やビオニールの闘争について報告をなした。

二十五日は二十四日の報告に基く決議草案が兒童によつて討議された。即ち次の如き草案に對して

一、都會及び農村の子供達の困苦、窮乏、××に對する闘争

二、宗教問題

三、學校内の運動

四、國際教育

五、ファシズムと戦争との闘争

草案は初め部會に別れて討議され、最後に全體會議によつて再討議された。

各部會の討議の結果が報告され、決議され、而して具體的な任務が各國ビオニールに對し

て課せられ、更にその會議は全世界の労働者農民の子に宛てた宣言を採用したのである。各國代表者達は、ピオニールの活動について、××的競争の約束を結んで會を終つたのである。此のスコット大會中にピオニールの先導者會議が開かれ、ピオニール運動についての批判決議がなされた。

ベツカアは今迄の「ユング・スバルタス同盟」の活動方法を批判し、決定的な方向轉換の必要を説いた。彼はその演説中で次のやうな言を言つてゐる。

『同盟の現在の組織形式と方法は、不充分であり、ギョチない。兒童の組織の特殊性が顧られてゐない。そのために、同盟は現在なほ精英の一群にすぎない。もつと活潑な兒童に適した方法によつてのみ、労働者兒童のより廣汎な大衆を掴み得る。』

此の意見に對する熱心な討議が行はれ、そしてこの意見の正しいことが認められた。その他國際××青年同盟中央委員會の代表者フュルンベルグの兒童組織に關する批判等があつた。此等の批判、討議に従つて、先導者會は満場一致で決議をなした。本會は兒童的轉換の必要を認め、今後、黨、青年、大衆の組織からなるドイツの委員會は、此の決議の基礎に立つ

て大活動することになつた。

スコット大會中には此等の重要な會議外に兒童スバルタキアード及びスポーツバラスト會が開催されて偉大なる成果を得たのである。

プロレタリア少年の國際的會合は單に理論の討議によつて終つたのではなくその國際的結合による鬭争を展開した。スコット大會の最終の日ピオニール達はスポーツ・バラスト大會を開き、二萬の少年が参加した。此の大デモをピオニール達は、八月一日の××デーの鬭争と結びつけて、國際的プロレタリアートの連帶的精神の下に於いて行つたのである。



第二章 少年運動の任務、形能、方法

一、ボーイ・スカウトの社會的役割

ボーイ・スカウト運動の内部に於いては、種々の型がある。例へばイギリスに於いては軍國的民族的タイプ、アメリカに於いては、民主的々義的タイプ、イタリー、フランスに於いてはフアシスト的タイプ等である。

又ボーイ・スカウト運動と有誼的關係に置かれてゐる、宗教的ボーイ・スカウト運動がある。

然るにボーイ・スカウト運動の任務は常に一つである。即ち種々のボーイ・スカウト運動の目的は、プロレタリア少年大衆を異なる搾階級の目的の下に従屬せしめる點に於いて同一であり、又それ以外の他の何物でもない。

即ちボーイ・スカウト運動はプロレタリア少年大衆をブルジョア利益のために捕へ

るために新しい方法を用ひたブルジョアの進歩的運動である。×××フアシスト的の組織は、その軍事的性質によつて少年も獲得しようとして試み、服従を教へ、少年を謙讓なる×××教化せんとするキリスト教的少年組織やカトリック教的少年組織でさへも、少年大衆をその宗教的性質にボーイ・スカウト組織の運動方法を用ひて彼等の監督下に引き込み、宗教的影響の下に置かんしてゐる。

然らば此の恐るべき弾力性に富んだ、少年運動、ドイツに於ける××主義教育理論家ヘルンに『革命的教育方法』（註）とまで言はれたボーイ・スカウトの教育方法とは如何なるものであるか、又如何なる原理から發見されたものであるが、私は以下に於いて述べなければならぬ。

一、ボーイ・スカウト運動の意義及び目的

ボーイ・スカウト運動の意義及び目的について、イギリスのボーイ・スカウト運動の創始者、サー・バーデン・パウエル將軍の、スカウトの組織に関する規定の中に吾々はそれを發見することが出来る。

『ボーイ・スカウトなる語を以つて、吾人は界始林の住人、探險及可び國境移住者の仕事と解する。我々は兒童にボーイ・スカウトの根本概念を與へつつ、彼等の希望及び趣味に迎合し且つ同時に教育作用をする、遊戯の活動の組織を彼等に與へる。よしそれが、遊戯のためであらうと、又快よき活動のためであらうと、それは彼等を兄弟關係のグループのなかへ彼等にとつては自然な組織のなかへ引き入れる。そして彼等に確實な行動と装とを與へるそれは、彼等の理想力とロマンチックな精神傾向に訴へて、戸外に於ける活潑な生活をするやうに彼等を説き勸める。教育者は、ボーイ・スカウトの活動から、兒童に對して肉體的健康と發達、活動力、發明の才、及び午の技能を期待する。規律、宗教的性質、騎士的態度及び祖國愛を腕白小僧の心中に生ぜしめる。一言にしていへば、他の何物よりも生活結果にとつて、より重要であり、且つ學校に於いては未だあまりにも顧慮されてゐない性質を育成するのである。』

又此のパウエル將軍のスカウトの根本的意義とも云ふべきものを、更に誇張し布延し、宣傳するため、幾多の指導者達は次の如くその意義を説いてゐる。

1 少年の見解より

競技や遊戯をしてゐる中に何時の間にか少年達をこの自然の友誼のうちに結合する。彼等の想像や、ロマン스에迎合し、又彼等を活動的なる野外生活に導く。

2 両親の見地より

身體の健康及び發達を促し種々の能力方法、手藝等を教へる。又少年に訓練、勇氣、武士氣質、愛國心を注入し、即ち生涯の行く手を定むるには他の何物にも優る根本的な性格を發揚する。

3 國家的見地より

現代國民に對して、善良なる公民の養成をなし、戦時を除いては軍隊的訓練をさける。

以上によつてパウエル將軍の根本的原理と、その根本的原理に基いたボーイ・スカウトの藥の宣傳用廣告文の如き具體的効能の宣傳文によつて吾々ボーイ・スカウトの意義を認識することが出来る。

更に吾々はパウエル將軍のボーイ・スカウト主義のより積極的な定義の中にこの事をより明確に認識し得るのである。彼はその定義に『ボーイ・スカウトは遊戯によつて兒童に社會

性を教育する組織であり、この組織は学校教育に缺くべからざる補助機関である。』としてゐる。彼の云ふ『社會性や学校教育の補助機関』とは、ブルジョア社會の主權を容認し、それを支持するところの『社會性』であり、ブルジョアの奴隸教育をより充實させ、徹底せしめるための『補助機関』以外のものでないことは彼が、そのことを蔭蔽せんとすればするほどその意圖はより明白に暴露されるのである。

吾々はボーイ・スカウトの意義をより明確に認識するために、その誓文を注意深く見なければならぬ。

萬國少年團員の誓文

私は私の名譽にかけて私の最善を盡す事を誓約します

▲神と國家とに私の義務を果します

▲常に他人を助けます

▲少年團の掟を祈ります

此の萬國少年團の誓約によつてパウエル將軍のボーイ・スカウトに對する抽象的な定義も

極めて明白にされたのである。

即ちボーイ・スカウト運動は、兒童の遊戯的興味や自發的活動心を巧みに利用して、上長に對して従順に君主及び國家に對して忠實ならしむるブルジョアの教育の進歩的な方法である。従つてボーイ・スカウトの教育方針はブルジョアの經濟的乃至政治的な支配權を擁護し防衛する兵士たらしめるために組織され教育される、ブルジョアの利益にとつて重大な意義を持つものである。彼等は『遊戯によつて社會性を教育する』といひながら、兒童を資本主義的××××の組織の中へ動員するものである。即ち『恐怖のためでなく名譽のために、(自己の)名譽にかけとて彼等は誓はしめる』命を惜まずに戦ふ兵士を養成すべき××主義××××の準備教育に外ならぬのである。

次に此の運動の××主義的意義をボーイ・スカウトの義務の中に見出されなければならぬ。

パウエル將軍は市民としてのボーイ・スカウトの義務を左の如く述べてゐる。(註2)
『不和に支配された家は成立し得ない。……諸君は、身分の相違を橋渡ししなければならぬ。』

らない。我々の何人も此世に見出すところの席を取らねばならない………愉しい生活をあまり多く求むるな………身分の事を考へずに、諸君の國家と雇主のことを思へ。獻身は、常にその報酬を受くるものだ。………』

此のボーイ・スカウトの義務に到つては××主義的性質を最も露骨に暴露するものである。即ち此の義務はボーイ・スカウトに資本主義×××主義の××になることを誓はしめる意外のものではない。

この義務と關聯して、國民的防禦（義務兵、警察投助隊兵）の義務をパウエル將軍はのべてゐるパウエル將軍の著やその演説の中には『活動力ある愛國心』が繰返し述べられ強調されてゐる。而して彼は××主義戦争を讚美して

『金錢を維持する鐵なければ、何處に金錢を保管する利益あらん』と言つてゐる。

パウエル將軍はスカウトの××主義的性質を更にその實踐に於て曝露してゐる。彼は理論家はと云ふよりは寧ろ實踐家である。彼の實踐は常に××主義戦争の方向に向いてゐるのでその實例を示さなければならぬ。

パウエル將軍は世界大戰が起るや否や、ロンドン市の二萬二千及び、地方を併せて十一萬のボーイ・スカウトを動員して軍事的仕事に従事せしめたのである。

世界戦争當時に於けるイギリス、ボーイ・スカウトの軍的事活動はボーイ・スカウトに課された次の如き任務を揚げるだけで充分に示し得るのである。

- 1 各地の住民に對し、事變を報告すること及び宿刺、徴發、警戒等に関する任務
- 2 通信を騎手、信號手、電線電信等により通信を怠らざること
- 3 敵の斥候の破壊を豫防するため、橋梁、排水溝、電信線等を常に偵察し護衛すること
- 4 利用し得べき糧食運搬等に関する情報を集めること
- 5 各地の住民間に組織的救恤手段を講ずること
- 6 國家の防衛に服しつゝある人々の家族又は病者負傷者を救助すること
- 7 彼等の俱樂部室内に應急手當所、假網帶所又は救護所、調劑所、スロープ施與所等を設置すること。
- 8 案内者、傳令等の役をつとめること

9 飛行機より投下する通信をもたらすこと

10 河口及び港湾を警備し、浮標なき河渠に於ける船舶を警導し、又は依船に燈火を示す等、其の他海岸防禦を助くる海邊勤務を務むること

ボーイ・スカウト運動は明かにXX主義的XXのために従來の消極的ブルジョアの教育に比してより活氣ある運動であるばかりでなく、XX的プロレタリアートに對しては勿論のこと、労働者階級一般に對して敵意ある態度を以つて、而もそのプロレタリア的闘争を阻止せんとするものである。吾々は此の事をパウエル將軍の『失業』に關するの意見の中に發見することが出来る。

『私には、我國民のすべての階級を通じて仕事をする者の増加に悩み、國家その他に對する義務並びに責任を逃れ、すべての形態の労働を避けんとする者に悩んでゐる。』

此の文章に於ける『國民のすべての階級』とは労働者階級のサボタージュ・ストライキに對する彼の敵意が隠蔽されてゐる。更に失業者を、仕事をなまける者として、國民の敵として全國民に敵視させ、之を排撃せんとする企圖が反映されてゐる。パウエル將軍によると失業

者とは仕事をずるけてやらない者であり、生活の貧しい者は質素節約の念の足らざる者である。労働者がビールや煙草の享樂を斷念すれば、その家族は樂な生活をなし得るといふことになる。

こゝに到つて、吾々はボーイ・スカウト運動の倫理的要素も又徹底的XX主義なものであり、支配的ブルジョアジのイデオロギから流れ込んで來たものであることを知ることが出来るのである。

以上によつて私はボーイ・スカウト運動の意義、その役割、任務を具體的に明かにしたのである。次に私はボーイ・スカウト運動の組織形態及び運動方法について述べねばならぬ。

(註1) ヘルンはボーイ・スカウト運動の少年大衆を獲得する新しい教育方法に關して彼の著書『プロレタリア教育の理論』に於いて次の様に書いてゐる。

「プロファインドファンタル主義の教育方法は因襲的なブルジョアの教育と比較すると革命的である。それはすべての従來のブルジョアの教育の神髓を逆立ちせしめる。……」

此の「革命的方法」と云ふ事が國際的に問題になり、國際××青年同盟執行委員會に於いてフェルンメルダは、ブルジョアの少年運動の如何なるものに於いても、その目的に於いても、更に又方法自身としても何等の革命的なるものゝ存しないことを論じ、ヘルンレのボーイ・スカウト主義教育に對する混亂と誤れる認識を指摘した。

(註9) マウエル將軍の「市民としてのボーイ・スカウトの義務」「國民的防禦」「失業」に關する引用文は、彼の「すぐれたる國民を教育するハンドブック」と稱する著書中のものである。

(附記) 筆者はボーイ・スカウトの任務に關して、より之を明確にするため、列強のボーイ・スカウトの誓文を掲げることが必要と考へ、簡單に列擧することにする。

ボーイ・スカウトの誓及び掟

萬國少年團の誓文

私は私の名譽にかけて私の最善をつくす事を誓約します。

▲神と國王とに私の義務を果たします

▲常に他人を助けます

▲少年團の掟を守ります

萬國少年團の掟

- 1 健兒の名譽は信頼さるべきである
- 2 健兒は國王と指導員、兩親、雇主及び團下の人々に親切である
- 3 健兒の義務は、有要の人となりて他人を助けるにあり
- 4 健兒は凡ての人の友達であつて、他の健兒に對して兄弟であつて、それ等の人々が如何なる階級にあるを問はず
- 5 健兒は禮儀を正しくす
- 6 健兒は動物の友である
- 7 健兒は兩親、班長(パトロームリーダー)或は隊長(スカウトマスター)に唯々として服従する
- 8 健兒は如何なる困苦にあつても微笑して口笛を吹く
- 9 健兒は勤儉である

10 健兒は思想、言語並びに行爲が純潔である

英國ボーイ・スカウトの誓文

第一、神及び國王を尊崇すること

第二、他人を助くること

第三、ボーイ・スカウトの規約に服従する事

アメリカボーイスカウトの誓文

第一、神と私の國家に對して自己の義務を遂行し、スカウト規約に服従せんがために

第二、何時でも他人を助け、自己の肉體的健康、精神的自覺、及び道徳的純眞とを保持せんがために

フランス・エクレールコールの誓文

第一、如何なる場合に處するも、良心ある男子として其の義務に對し忠實、勇敢に行動すること

第二、祖國を愛し、其の戦時と平和を問はず常に祖國のために忠誠を盡す

第三、エクレールコール綱領を遵守する

日本少年義勇團の誓文

第一、忠孝の大節を勵み、日本男兒の本領を盡すべし

第二、吾等の名譽にかけて義務を果たすべし

第三、心身を鍛練し、常に準備ある人となるべし

二、ボーイ・スカウトの組織

ボーイ・スカウト組織は、八歳から二十歳に亘る青少年を××××教育組織に組織し、而も少年の性情に適應し、興味に迎合して集團的に活動し、組織するものである。

ボーイ・スカウト組織は兒童心理及び兒童の個性に適して、兒童の自發活動によつて組織される、牧歌的な、ロマンチックな、英雄主義を基礎として兒童を愛國的熱情を以つて教育し、善良なる市民として、又勇敢なる兵士として教育するものである。彼等はそれを戦争のスカウト、平和のスカウトと稱し、その何れを問はず、祖國に對する忠誠を強調し

てゐる。

ボーイ・スカウト組織の單位は、班（パトロール）である。六人——八人を以つて班を組織し、六班を以つて隊（トループ）を組織する。従つてその教育組織は班を基礎とした班制度教育（パトロール・システム）によつて行はれる。

イギリス及びアメリカのボーイ・スカウトは、三つの階級に分割され、而もその何れも班を基礎してゐる。

最初、新参者は、ボーイ・スカウトの下に教育され、種々な試験の後第二級のボーイ・スカウトに進み更に第一級のボーイ・スカウトとなる。殊に第一級のボーイ・スカウトに對しては良市民として實際に役立つ仕事や、國家のためのすべての義務に服し、生命を堵す事になれ、國家のためならば生命を投げ出す準備が要求されてゐる。その上、少くとも十マルク儲けて貯金する事が要求されてゐる。

その外にイギリスに於いては近衛健兒及び近衛海洋健兒が、第一級の上に置かれ、最もスカウトの名譽とされてゐる。

又ブボーイ・スカウトは統一された系統的組織を持つてゐる。

即ち、年齢によつて、そゞれに應ずる三つの組織、幼年健兒隊（十一歳以下）^{スカウト}（十二歳以上）^{コック}青年健兒（十六歳——二十歳）のそれである。

教育組織の内容は、バーデンパウエル自身明言する「余り複雑なることも要しない」單純なものである。印象深い活動的な、意志を徹底的に鍛練する命令及び平易な規則（例へば一日一善）に整約される。

二、ボーイ・スカウトの活動方法

ボーイ・スカウトの活動方法は、兒童の自發活動を基礎として遊戯と勞働とを有機的に結びつけて行はれる。

バーデンパウエルはその事について次の如く言つてゐる。『ボーイ・スカウトの教育方法は、單に兒童のうちに知識を注ぎ込むのを目的としないで、兒童の心の中に自分から學ぼうとする希望を呼び起すのを目的とする。我々の主義は、現代教育理論家のそれと一致する。』

『どの部分にも我々は同じ主義を持ち、そしてどの部分にも健児の心理をとらへてゆくのであるが、それらを年齢にあふやうにかへて行くのである。』

更に彼は教育方法のプロセスを次の如く示してある。

準備——プログラムと内容を用意してやる

實踐——やつてみせてその結果をみせる

解説——どうしてやられたかをなし、こまかに説明する

模倣——子供自身にやらせる

質問——子供に質問し、又それを受ける

最後にボーイ・スカウトの教育方法は、社會的生活と聯關して行はれる。即ち、スカウト章なる制度によりて職業技術の教育を行ひ、社會的實際生活に役立たせる。然し、社會的生活活動の内容は根本に於いて、良市民忠良なる兵士としてあり、その義務や事業に参加させる事である。

故にボーイ・スカウトの教育方法が理論と實踐を一致させる、遊戯と労働を融合させる

ものであり、ブルジョア教育に比して進歩的方法であらうと、その故を以つて、革命方法であるといふ考へは根本に誤謬である。(註)

(註)この事については、ボーイ・スカウトの「運動の任務」の註に於いて、フュルンベルグの明確なる批判を掲げてある。

二、ビオニール運動の任務・形態・方法

ビオニール運動の任務、その他に關して、吾々はまづ諸國に於ける、××黨、××青年同盟にビオニール達の活動、闘争しつゝある諸條件を考へなければならぬ。即ち、ソヴェート・ユニオンに於いては、プロレタリア獨裁の擁護のもとに××××設のために、資本主義諸國及び植民地に於いては、支配的ブジョアジーの搾取とテロに對する、プロレタリア階級の解放のために、といふ條件を。

然しかゝる諸條件の相異は、兩者に於けるビオニール運動の任務を根本に對立、區別させるものではない。

此處に於いて吾々はビオニール組織、運動の意義、性質を明確に認識しなければならない。

一、ビオニール運動の意義、性質

ビオニール運動は、廣汎なるプロレタリア少年大衆をして彼等の階級的地位及び階級闘争の必然性を理解させること、即ちプロレタリアートの階級闘争への××を基礎として、彼等を××主義の精神に於いて教育するところの××^{共産}黨及び××^{共産}青年同盟によつて指導される××青少年運動である。

一九二九年に於ける國際××青年同盟執行委員会はビオニール運動を次の如く認識してゐる。

『××主義的少年運動は、青年運動より廣汎な且つ少年のあらゆる利害や要求に適合した闘争に基礎を置くプロレタリア少年の教育組織である。』（「イシタナショナル」第四卷第十號）

此の××主義少年運動に對する明確なる認識から吾々はビオニール運動の種々の任務を認識することが出来るのである。

ソヴェート・ユニオンに於けるビオニール運動は二つの任務を持つてゐる。即ち、一は全

世界のプロレタリアとの闘争のために、二は、××主義社會の建設のためである。

他の資本主義諸國のビオニール運動の任務も之と根本的には變るものではない。即ちブルジョアへの闘争のため、ソヴェート・ユニオン防衛のためである。

吾々はかかる根本的なビオニール運動の任務を更に分析しなければならない。

二、ビオニール運動の政治的任務

一、廣汎なるプロレタリア年大衆の上に××主義的影響をひらめること、即ちプロレタリア又はプロレタリア少年の經濟及び政治的闘争と結びつけて、ビオニールを通して未組織少年大衆に近づき彼等の間に××主義的精神と目的とを擴めること。

それ故にビオニール運動の第一の任務は、ビオニールを××主義的に教育することと同時に、ビオニールを通じて未組織大衆を××××に教育することである。

二、ビオニール運動のため、有能な、首尾一貫した成員からなる幹部を養成することである。それと同時に黨員か否かを問はず、絶體にその目的に對して献身な技術者の廣汎な層の支持を求めることが必要である。例へば教師、音楽家、スポーツ教師等である。これ等の有

能な技術家は指導者と、もに少年の實際的教育のため絶體に必要である。

三、労働者、農民の間にビオニールを通して、黨及び××青年同盟の啓蒙活動を宣傳することである。

三、ビオニール運動の教育的任務

一、ビオニール組織は、プロレタリア少年の闘争を彼等の利益のために組織し、指導するものでなければならないし。それによつては全プロレタリア階級闘争へ少年の参加を組織することが出来なければならない。それは又、××主義運動一般の闘争へ少年組織の闘争が参加することを組織し得る状態にならねばならぬ。即ち子供らと組織と更に上層の組織との密接な結合を計らんがために子供自身によつて建設させることである。子供ら達の自發的活動に基くビニール組織の設立は、運動の決定的な任務の一つである。この事によつて子供達を直接に實際活動に導き、彼等を將來黨や××青年同盟の立派な闘士に養成することが出来る。

二、少年の××主義的教育である。此の教育は命令的、注入的、權威者としての教育ではな

く、子供等の自發的活動を重んじ、唯彼等の仕事に補導的に参加する、全く彼等と協力して行はる教育である。

三、少年の性情及び生活の種々な型及び種々な方面を理解し少年の性情及び生活に密接に結びつくことによつて肉體的、精神的並びに政治的に彼等を教育すること、同時にプロレタリア運動の歴史的任務を理解させるための教育である。

四、社會生活、實際的闘争への實際的参加によつてビオニールを教育することである。例へば、

- 1 プロレタリア及びプロレタリア少年の經濟闘争及び學校闘争（例へば答罰反對闘争、温かい食物のため、教育手段や衣服のための闘争、反動的教育團體の闘争、革命的教師の處罰反對の闘争）への参加
- 2 學校の内部及び外部に於ける國粹主義的、宗教的、××主義的教育反對の闘争への参加
- 3 ソヴェート同盟に於ける少年の生活と既得權、社會主義的建設の廣汎な宣傳、ソヴェート同盟と他の諸國に於ける少年の團結、ソヴェート防衛のための共同闘争の經驗と、不斷

の準備を準備することの宣傳への参加

4 學校及び工場に於けるプロレタリア少年の闘争の支持参加及び青年同盟、並びに労働者階級の全組織の活動、闘争（メーデーや失業反対闘争）への参加

五、新しい指導者と技術家を青年運動の戦線から得、ピオニール間の活動のために彼等を訓練し教育するために最も優れた方法と手段を発見することである。

ピオニールの教育任務について、レーニン夫人、クルプスカヤは次の如く言つてゐる。

『學び、宣傳し、組織せよ！』

『學ぶといふことは單に理論的知識の意味に於いてはばかりでなく、將來の活動のための準備と練習の意味に於いてである。宣傳することは單に社會上の諸條件について説明するばかりではなく、プロレタリア國家に於ける彼等の諸任務について子供達や大人を啓蒙することである。而して單に宣傳や煽動のみに止まらず、更に活動の組織化——プロレタリア子供の組織化が必要である。』

まさにピオニール運動の根本的任務は、マルクス・レーニン主義運動の原則と一致するの

である。

吾々はクルプスカヤ夫人の社會主義建設の輝かしき闘争に参加しつゝ、 $\times\times$ 主義的に教育されるユング・ピオニールに與へた $\times\times$ 主義教育のスローガンに、ブルジョア的、 $\times\times$ 主義的 $\times\times$ 主義的學校に於いて、兒童を $\times\times$ 的服従を教育するための、スローガン、『よく學べ！よく遊べ！』を對置せしめるとき、 $\times\times\times\times$ 教育の絶體的勝利を絶叫せざるを得ないのである。 $\times\times\times\times$ の潑刺とした、實踐的、 $\times\times$ 的なることよ！資本主義的教育の $\times\times\times$ 、不活發な無味乾燥的なることよ！

四、ピオニール組織の内容

吾々はピオニール運動の意義、任務からピオニール組織の内容、性質を左の如く規定することが出来る。

ピオニール組織は、プロレタリア少年大衆の廣汎な組織であらねばならぬ。従つてプロレタリア少年の全活動の領域を自己の組織の中に吸収し、把握するものでなければならぬ。それ故に、ピオニール組織のプロレタリア少年大衆及び自然成長的プロレタリア少年組織

に對する關係を、X X黨の廣汎な大衆組織（例へば労働組合、協同組合等）に對する關係及びX X青年同盟の傳導帶（例へばスポーツ組織、文化組織）に對する關係と同視することは全く誤りである。ビオニール組織はプロレタリア少年大衆の廣汎な組織である限りに於いて何等傳導帶や補助組織を必要としない。即ちビオニール組織の活動の全内容は、プロレタリア少年大衆の凡ての要求及び活動範圍がその中に於いて把握され、満足せられるべきであるが故に、ビオニール組織はかゝる少年補助組織を全く必要としないのである。

五、ビオニール組織の基礎

プロレタリア少年大衆の間に於ける組織的・計畫的活動は、多數の少年の居るところになされねばならない。それ故にプロレタリア少年の働いたり、學んだりしてゐる工場にその細胞が作らるべきである。ソヴェート同盟に於いてはこの事は全く解決すみの事である。即ち工場は青年同盟や黨にとつての基礎であると同時に、ビオニール組織にとつても基礎であることが終局的に決定されてゐるのである。従つてビオニール組織の基本單位は工場細胞である。

此の事はプロレタリア獨裁が行はれ、社會主義的工業が益々發展して、農業をもよりよく工業化し得ることが出来るほど、又學校教育がX X X X化され、學校それ自身が生産的工場化し得るほど、工場がビオニール組織の基礎であることが益々明確に證明されるのである。

然し資本主義諸國に於いてはプロレタリア少年が工場に吸収される傾向を近時いぢよるしく示してゐるにかゝはらず、プロレタリア少年は未だ街頭に於いて労働する者多く、而も學校は生産的労働から絶縁されてゐる。かゝる事情によつて従來プロレタリア少年の組織は工場よりも、學校よりも、街頭に於いて最も發展してゐたのである。更に決定的な資本主義諸國に於いてはプロレタリア兒童は殆んど全部學校に吸収されてゐることから、現在に於いては、學校X X X Xする時に於いてのみX Xある活動をなし得るのである。然しこの形態はむしろ、過度期的なものといはねばならぬ。吾々は學校X Xが常に危機をはらんでゐることを見る（運動が一方的文化的におち入り、經濟的、政治的、日常闘争が輕んじられてゐる）。かゝるが故に、資本主義諸國に於いては、ビオニール組織を黨や青年同盟のX X X Xと密接に結びつけることがより強調されねばならぬ。此の事はビオニールの基本的組織の方向

××建設のために、一、××××××の××にといふの上に、ビオニール工場細胞は次の一般的任務を課されてゐる。一、子供達の實際的、社會的活動、二、グループ内部の組織的、指導的活動である。

七、ビオニール組織の活動方法、形態

ビオニール運動の性質に應じて、ビオニール組織の活動の方法は弾力性を持つた多種多様な方法によらねばならない。即ちそれは、××主義の影響下にプロレタリア少年を××××××のための多種種様の組織形態に相應しなければならぬ。プロレタリア少年大衆を獲××××××あらゆる可能性を利用しなければならぬ。例へばある都市に於いては、一つの特殊のグループに新聞賣子がとらへられ得るだらうし、又重要産業部門に働いてゐる少年（アメリカ・支那）が、獲得され得るのであらう。又學校や工場や都市地域の少年を、或は彼等の生活並びに労働關係によつて他の層から區別される一定の労働者層の少年を他のグループに再組織することが出来る。少年スポーツ、武装スポーツ（ドイツに於まる赤槍國の如きもの）旅行團、プロレタリアのボーイスカウト、少年オーケストラ、少年合唱團等のための特殊なグループを作るのである。

ープを作るのである。

然し、それ等の方法が如何なるものであり、その名稱が如何なるものであらうと、その本質からしてそれ等は全體として××青年同盟及び××××の統一的指導の下に確實な共通の原則及び義務を基礎として活動する統一的××主義少年運動を形成するものでなければならぬのである。即ちそれ等の特殊のグループはビオニール運動の原則を基礎として活動しなければならぬのである。例へば、成年労働者の一般的闘争への参加、經濟闘争及び××闘争、支配的イデオロギー及び反××主義的教育、××闘争、サヴェイト同盟に於ける少年生活及び闘争、××主義建設への彼等の参加の宣傳、××××××同盟防衛のための闘争、敵の少年組織間に於ける系統的活動等である。

而も此等の方法は、ビオニール自身の積極的自發的活動性に基づいて、常に生き生きとした方法を以つて行はねばならない。

ソヴェイト同盟に於いては、ビオニールの活動は三つの基本的要素に分類されてゐる。

此の事について秋田雨雀氏は、プロレタリア教育雑誌『新興教育』第一卷第二號に於いて

次の如くのべられてゐる。

『ソヴェート同盟に於けるピオニールの活動をその性質から三つに分類することが出来る。国際性、b同志感、c自發的活動性である。』

国際性——とは國際資本によつて惹起されてゐる國民間の憎惡や偏見に對して鬭争を開始し、資本主義××に於けるプロレタリアトの兒童の解放を助けること。東方と西方によらない、また外交的でない眞の結合のために活動することである。

(ピオニール教育の中に取り入れられてゐる國際語としてのエスベラント運動は目覺しいものである。)

同志感——この性質は國際的方面から考察されなければならないのであるが、この感情こそ、ソヴェート同盟の若き時代の活動の拍車となつてゐるものである。「同志としての教育」「集團勞働の教育」「同志的扶助」「集團勞働の組織化の教育」是等のものはピオニール團體の結合の基礎となつてゐるものである。

自發的活動性——ザルキン教授は古い利己主的社會觀を表現して「私の鐘だから私の鐘」

といふロシアの里諺を引用してソヴェート同盟のピオニールの同志感と對稱させてゐるのは興味あることである。またクベニナは「私の小屋は村端れにあるから何にも知らない」といふ昔の里諺を引用してピオニールの心理を説明してゐる。

ソヴェート同盟のピオニールは、青年コムニストを通じて「黨」と立ち切れない結合の糸を持つて居る。

ソヴェート・ユニオンに於けるピオニールは以上の如き活動の基本的精神に基いて、多種多様の形態に於いて生き生きとした活動がなされてゐる。

一、學校に於けるピオニールの活動

學校に於けるピオニールの活動について、クルプスカヤ夫人は次の如く述べてゐる。

『ピオニールは學校教師を熱心に支持し、新しい學校設立のために彼等を援け、又ピオニールは學校の獨特な醗酵素とならなければならない。』

此のピオニールの學校に於ける任務は、ソヴェート・ユニオンに於けるピオニールの任務の重要な部分を占めてゐる。即ち學校に於けるピオニールの活動も××××建設の線に沿ふ

て行はれてゐるのである。『ピオニール運動なくして新しい學校の建設は不可能である。』といふことは此の事を最もよく反映してゐるものである。

二、家庭に於けるピオニールの活動

家庭に於けるピオニールの活動は、彼等の両親に對して××主義的啓蒙を行ひ、社會的活動、文化的生活に引き入れることである。

左の如き一例を擧げる事ができる。

ピオニールは家庭に於いて、壁新聞を作り、それによつて、家族に對して××救済會、×××××、工場労働、××主義戦争を理解させ、黨のスローガンを宣傳し理解させる。又若い兄弟姉妹をピオニール組織に引き入れることや、両親をメーデーや×××××××等に參加させることである。

三、未組織の子供間に於けるピオニールの活動

未組織の子供の間に於けるピオニールの活動はその重要な一つとされてゐる。

工場、學校、街頭に於いて、或は又他の少年組織の内部に於いてピオニールの活動は積極

的に行はれてゐる。

特に浮浪間に於けるピオニールの活動は大なる意義を持つてゐるのである。

戦争と内亂によつてその両親を失ひ、住居や生活手段を失つた浮浪兒は社會主義××のよき成果によつて、労働者、農民の獻身的、犠牲的骨折りによつて、その數を減じつゝあるとはいへども、未だ之が救済事業は充分なる成功をおされてゐるとはいへない。何人も、何物も信じようとしない何等の自覺も、理想をも持たないルンペン兒に×××××的教育を行ふのは困難中の最も困難事である。

ピオニールはかゝる困難な事業に参加し、街頭に於いて、浮浪兒の共同作業場、運動場に於いて彼等の教育を支持し、援助するのである。

その他ピオニールは『十月の子供』の間に於いて兒童市の子供の間に於いて、あるひは又職業指導所や、種々の集會（政治研究會、體育會、無神論者會、寫真會、繪畫會、ラヂオ會等）や大集會（合唱會、演劇會、演奏會、エスペラント會等）に於いて積極的に活動してゐるのである。

四、ビオニール組織内部の活動

ビオニール運動の全活動の上に最も重要な性質を持つものは、その組織内部に於ける活動である。内部の活動が組織的、計画的、具案的になされなければ、その社会的全活動は活潑に行はれるものではない。そのために、ビオニールは、その團體會議を持ち、活動を計畫しその實際的訓練（練習）を行ひ、更に又なされたる計畫活動に對する批判がなされ、以て次の活動のための計畫と決議が行はれる。

更にビオニール内部の活動の重要なものは、ビオニール中より少年運動のよき指導者を養育し、訓練することである。そのために團體の内部に於ける當面の活動の實際的、技術的練習が行はなければならない。

組織内部のビオニールは、常に集團的に教育され、當面の活動に對して訓練される。

ビオニールの内部組織に用ひられてゐる、形態は談話會である。これは團體指導者が團體總會や野營の際、^{キャンプファイヤー}燎火の邊りで催される。

談話會は常にその團體の當面の活動と關聯して、子供達に、團體の活動及び活動に關する

諸條件を理解せしめ、活潑な實際的活動をなさしめるものである。

(註) ビオニール内部の活動形態に關して、その具體的實例を示すべきであつたが、紙面の都合を削除しなければならなかつた。

此の事について「戦旗」第二卷第八號特輯、「ドイツ赤色少年團夏季訪問記」、「文戦」第六卷第七號特輯、附録、「ビオニールの生活と活動」及び最近世界社から出るホピンカス「ビオニールの生活」を一讀されたし。

第三章 少年運動の現状

一、世界恐慌とプロレタリア少年運動

資本主義的産業の合理化はプロレタリアの階級を、従つてプロレタリア少年大衆を×××××××、資本の搾取と壓迫になやましてゐる。従つてこの合理化はプロレタリア少年運動にも大きな影響を與へるものである。それ故に、吾々は資本主義的合理化の少年に及ぼした影響を具體的に分析しなければならないのだ。この事について國際青年×××××××執行委員會に於ける、フュルンベルグの正確な報告及び青年コミンタインの權率的決議に基く事が最も重要である。

一、資本主義的合理化が少年労働の増加を齎らす事は全く明である。それに関しては最早何らの意見の相異はない。資本主義的合理化は少年労働の増加を、従つてプロレタリア少年の搾取の強化を意味する。資本主義的合理化は働勞を單純化し、従つて少年の仕事に従事する

事を可能にする。それは又この事を屢々不可避的にさへする。少年は小さな手で機械を使用する事が出来るので、一定の機械は少年を労働に従事せしめる事を不可欠としてゐるといふ様な事情を吾々は知つてゐる。かゝる事情については支那紡績業から報告された。併しかゝる事情は他の國々に於ても亦同様に存在する。

二、資本主義的合理化が行はれてその作用を及ぼす第二の領域は學校である。この問題に關しては吾々は既に先日青年同盟の指導者會議で討論した。この指導者會議に同志ヘルンレはテーゼの草案を提出し、彼はその中で一方産業合理化が必要とするところと、他方ブルジョアジの階級支配が必然に生み出すところとの間に矛盾の存する事をのべ問題を次の如く立てた、資本主義の發達は少年をより多く教育する様にとブルジョアジに強制する。何となればそうする事が労働大衆からヨリ多く搾取する事が出来るからと。吾々はかゝる見解を否定した。吾々の意見によればかゝる強制はなくて、反對に資本主義の發達は廣汎なる大衆の教育を劣悪化し大衆を益々無教育にするのである。プロレタリアートを出来るだけ低き水準に保たうとするブルジョアジの利益と資本主義的合理化との間には何等の矛盾もない。

それに関して誤れる見解が廣く行はれてゐるか、或は少くとも多くの同志にあつては不明瞭にしか理解されていない。この事は半年前に出版された同志ウイースネルの小冊子にも現はれてゐる。その中ではこの問題は明瞭に取扱はれてゐない。

生産の増加と改良との爲に、又資本主義的合理化の爲に労働大衆の教育は劣悪化されねばならぬ。同志諸君、この事は少數の者が拔擢されよく教育される事さへもないといふ事を意味するものではない。かかる事は從來よりもつと多く行はれるであらう。こゝに労働貴族のための新しい根據が生ずるのだ、だが而し生産の改良を行へばどうしても大衆の教育の改善に到達するといふ風に問題を提出するのは正當でない。

合理化は實際に教育及び學校の上に如何なる作用を及ぼしたか？ 同志ウイースネルは彼の小冊子中でこの問題を全く正當に取扱つてゐる。彼はその書の中でこの作用は種々の學級を合併して少數の教師を任用する所の緊縮制度を設けるにあると説いてゐる。それは明確に資本主義的合理化の一作用である。だがそれはささいな作用に過ぎず、重要ならざる作用である。より重要な事は學校と合理化産業との密接なる結合の試みが爲されてゐる事、各種の

産業部間の爲に學校では少年教育の専門化が既に試みられてゐる事。合理化産業の要求に適應して教案を作成してゐる事である。例へばドイツに於ては職業の撰拔や擇技が學校に於て而も産業そのものを通じて行はれるといふ様な現象が見られる。

三、資本主義的合理化の少年に及ぼす第三の作用は、資本主義的合理化に對するプロレタリア階級の全闘争にプロレタリア少年も亦参加してゐるといふ事の中にある。例へば若し資本主義的合理化の結果として種々の職業や工場或は全國に労働者階級の重大なる闘争が勃發するならば、その時にはこれらの労働者の少年が闘争に引き入れられ、この闘争の下に立つといふ事は明瞭である。』(國際××青年同盟執行委員會に於けるフュルンベルグの報告による)

『資本主義的合理化は労働少年の状態の驚くべき×××を齎らし、又生産過程へのプロレタリア少年大衆を益々引入れるための基礎を作り出す。ブルジョアの學校は益々資本主義的合理化及び××主義戦争の備前に適合させられる。社會ファシスト的、及び僧侶的諸組織は學校の内部でも外部でも益々××××××的教育のために利用される。これらの諸組織は國家の青年教育以上に中央集權的に統括されて居り、國家、自治團體及び個人の支持を十分に得て

る。社會ファシストは、特に平和主義的言辭及び國際聯盟的空語を以て活動し、又最近ではボーイスカウトすらも、戦争備準的及び反動的組織としてのその性質を隠蔽するために、かゝる假面を利用してゐる。今日、××主義的の少年運動は、益々危険性を持つた敵に相對してゐるのである。』(前報告による決議より)

二、×××××的少年組織のファシヨ化と

社會民主々義的少年組織の成長

×××××合理化は、プロレタリア少年の生活を劣悪化すると同時に、その半面に於いてはプロレタリア少年の×××をもたらしした。更に資本主義的合理化は××主義戦争の危機に迫られ、あらゆる組織を合理化と××準備に組織せんとしてゐるのである。學校に於いては積極的な合理化(職業指導、學級整理及びあらゆる經費の節減)及び積極的××教育が組織され、又社會ファシスト的組織及び宗教的組織まで、學校と提携して學校の内部に於いて、外部に於いて、××主義的教育を以て來るべき××の危機に備へんとしてゐる。此等の諸組

織は政府の支持援助の下にプロレタリア少年をブルジョアジの直接支配下に組織せんとしてゐるのだ。すべての資本主義諸國に於いては、少年の××教育があるは公然とあるひは隠然と行はれ、顯著なる制度がその學校内に置かれてゐる。多くの諸國、例えばフランス、イタリー、ポーランドでは強制的には行はれてゐる。ドイツに於いては、體操教育の形式で隠然と行はれてゐる。又その他の國に於いても何等かの形で××教育が行はれてゐるのである。彼等は少年のかゝる教育に對して『未來の國家を肩に擔ふ第二の國民』『社會改造は子供から』といふ、×××言辭を以て、少年教育の本質の重要な要素が××教育であることを自ら告白してゐる。又それと同時に、その××教育を隠蔽せんとする平和主義的教育と×××××同盟に對する排撃的教育がなされてゐる。

此の學校内に於ける××教育の組織を更に社會的に實踐的に發展させるためにファシスト的の少年組織が作られ、驚くべき發展をとげてゐる。例へばイタリーに於いては百十五萬七千の少年を××教育組織に獲得してゐる。更にその他の國に於けるボーイスカウトやスポーツ團體等も益々ファシヨ化してきたのである。

此等のファシスト少年組織は單に概念的に少年を教育するばかりでなく、ファシストの社會的活動や闘争に参加することによつて行はれるのである。

彼等は主として彼等の活動に於いて少年らしい生々とした活動方法及び活動の形態を適應することを理解することによつてプロレタリア少年を彼等の影響下に獲得するのである。

次に、平和的假面を被つてゐる社會民主主義的少年組織の發展について述べなければならぬ。社會民主主義組織の發展ともに社會民主主義的少年組織も近時その著しき成長を示してゐる。

ドイツに於いては、現在、赤色鷹ロイヤルイーグルの下に十萬以上のプロレタリア少年が社會民主主義的影響下に組織されてゐる。全世界に於いては數十萬のプロレタリア少年が社會民主主義的少年組織に獲得されてゐるのである。又從來未だ社會民主主義的組織の存在してゐなかつた多くの國に於いても、近時その設立を見たのである。(我が國に於いては日本労働組合總聯合が卒先して社會民主主義的少年組織の全國的結成を計畫し、今年の十月までに二千人のプロレタリア少年を獲得して大會を持つことになつてゐる。)

社會民主主義的少年組織のかゝる成長發展は、プロレタリア少年の×××と、プロレタリア少年獲得のための闘争の×××を反映してゐる以外のものではない。

殊に赤色鷹ロイヤルイーグルの如き左翼的社會民主主義少年組織の成長は此れを最も雄辯に語るものである。赤色鷹の用ひてゐる方法は××主義的少年組織のそれと全く同一であり、且つ具體的に適合してゐるのである。正にプロレタリア少年を獲得するのにブルジョアはかゝる手段方法によつて、××的プロレタリアートに肉迫してきたのである。

三、ピオニール運動の情勢

一、ピオニール運動の方向轉換

資本主義没落第三期の現段階に於けるピオニール運動の客觀情勢の成熟は前にも述べた如く、産業の合理化によるプロレタリア少年の状態の劣悪化、従つてそれに對するプロレタリアートの全闘争へのプロレタリア少年の参加である。即ち、ストライキ闘争や××闘争への参加及びその他プロレタリアートの一般的闘争への参加である。此れによつて吾々はプロレ

タリア少年の一般的×××を認める事が出来るのである。

然るに現在に於いては、ビオニール運動は此の客觀的情勢に適應せる運動方法によつて、運動を發展的段階に上らしめてゐるかといふ事について、事實は此の事について『否』と答へるのであらう。

一九二九年に於いては、ソヴェート同盟及びソヴェート支那以外の諸國に於けるビオニール運動は後退を示してゐる。即ち資本主義諸國に於けるビオニール組織は僅かに二萬人を擁するに過ぎなかつたのである。而もビオニール組織の黨の組織に對する關係は、青年同盟の黨の組織に對する關係よりも一層劣つてゐた。例へばドイツ××青年同盟は黨員數のほんの一六・四パーセントにあたる同盟員しか持つてゐなかつたし、又黨員數とビオニールの數との割合はこれよりもなほ五倍も劣つてゐた。此の事は××主義運動が一般的に萎縮した事を證明するものであり、従つてビオニール運動が活潑になされなかつた事を證明するものである。即ちビオニールは青年同盟よりも廣汎なプロレタリア少年の大衆であるにも拘はらず、事實は、その事が逆立してゐたのである。

此の事はまさにビオニール運動にとつて危機とも云ふべき事であつた。

かゝるビオニール運動の危機について、國際××青年同盟は此れを明確に認識し、その決定的方向轉換を決議したのである。

ビオニール運動の危機の原因を××青年同盟は左の如く認識してゐる。

『第一××青年同盟内に少年の間に於ける活動の性質及び具體的形態に關する明白なる無理解があることである。種々の形態に於ける少年大衆の廣汎なる把握の代りに、少年組織は黨や××青年同盟と殆んど同じやうに打ち立てられてをり、その際、黨活動及び青年活動の形態が機械的に移された。そしてそのことは本質的には少年組織を少年の黨に轉化することになつた。同時に吾々は亦公然たる社會民主主義的傾向を持つた純粹の「文化活動」に出遭してゐる。第二に、少年運動に對する絶體に不充分なる指導及び注意が××青年同盟及び黨の側にあることである。同盟の指導部及び國際××青年同盟の側に於いては、試練を経た確かな指導者達に必要な首脳部にその事任事が委ねられず、そして少年運動の危機の目の見えて成熟しつゝある、諸條件を除去すべく時機を得た精力的な方策は執られなかつた。』

に基礎をおく、プロレタリア少年の教育組織である。青年コミンテルンは先づこの點を念頭において、あらゆる右翼的並びに×××偏向、特に吾々の組織の活動を屢々直接に妨害するところの教育活動に關する社會民主主義的見地に對して決定的に戦ふものである。

かゝる偏向は何よりも先づ、社會ファシスト的組織の過少評價及びそれを一つのプロレタリア的少年組織と見る誤れる態度に現れてゐる。この偏向は更にボーイスカウトに對する誤れる判断並びに多數のプロレタリア少年に影響を與へ、且つそれを獲得する事の可能性に對する疑惑に、また宗派主義的孤立及び黨や青年同盟の方法の盲目的な模倣に表れてゐる。

これらの原則的な基礎から出發して、×××主義少年同盟は大衆活動への而も特に次の方向への決定的な方向轉換を實行せねばならぬ。』

ピオニール運動のかゝる決定的な方向轉換は×××の全支部に於いて急速に行はれ、決定的な資本主義諸國、ドイツ、フランス、イタリー、アメリカに於いては良好な活動の傾向が示されて居り。從來ピオニール組織を有しなかつた國に於いてはその創設を決議し、具體的な準備に向ひつゝある。

吾々はピオニール運動の決定的な方向轉換の成果を昨年ベルリンに於いて開かれた、ピオニール世界大會に於いて見る事が出来る。即ち第二回大會は、社會ファシストの壓迫と妨害を蒙りながらも尙第一回に比較すれば、参加したピオニールの數を見てもその向上的線を示してゐる。第一回の三百人のピオニールの参加に對して第二回は五百人の参加を見たのである。而もその資本主義諸國のピオニール運動にもたらした影響は甚大なるものがあつた。今や全世界のピオニール運動は×××主義戦争の危機に面して、最も緊張した最も精力的な活動を展開せんとしてゐる。

四、現段階に於けるピオニール運動の

諸任務及び活動の諸問題

一、任務について

一、資本主義諸國に於けるピオニール運動の任務は、凡ての×××を闘争へ参加させることであり、且つ組織することである。特に×××主義戦争の危機の迫つてゐる現段階に於いて、

經濟的、文化的性質をもつた種々の合法的諸組織が創られねばならぬ。同様に白色テロルの諸國、特にバルカン及びファシストのイタリアに於いても、少年の中に於ける活動が開始されねばならぬ。』(同前)

三、ソヴェート同盟に於いては、ピオニール運動の方向及び諸任務は、他の資本主義諸國のそれとは、その形態を異にするのである。

即ち、ピオニールの社會的實際活動は、

「社會主義建設に参加する(その事は資本主義國に於けるストライキ闘争等の参加と對置せしめられる)こと、新しい教育機關(七年制、統一労働學校等)の設立を助けること、子達の中に文化的發展を衛生的教育の意味に於いて促進すること、及び政治的啓蒙を行ふこと等である。」とゾーリンは言つてゐる。最近に於いては、 $\times \times \times \times \times$ は、偉大なる「五ヶ年計畫」の精力的遂行のプログラムを、ピオニールにも課されたのである。

「五ヶ年計畫を四年で!」「五ヶ年計畫に婦人と子供を参加せしめよ!」

ソヴェート・ロシアに於けるピオニールの任務もまさに、かゝる $\times \times \times \times \times$ の總動員に

應じて、社會主義建設に参加することであらねばならぬ。

二、活動の形態と方法

ピオニール組織の活動の形態と具體的方法は、その闘争の任務から自ら導き出されるのである。

即ち、最も優れたる、正しい方法は、現實の客觀的情勢の明確な認識によつて、その闘争の具體的任務の適合によつてのみ得られるのである。その故にピオニール組織の闘争形態と具體的方法を $\times \times \times \times \times$ 執行委員會の總會の決議に求めなければならぬ。

『(一) 生き／＼とした少年にふさわしい活動形態と方法を適用する場合にのみ遂行され得るのである。従來の少年同盟はピオニールのあらゆる活動を $\times \times \times \times \times \times \times \times \times \times \times$ を爲してゐるが、今やその代りに少年の活動力を發揮させる組織、少年の種々なる層やその種々なる利害關係に適應し、且つ各ピオニールを活動及び闘争の擔當者たらしめる組織が作られねばならぬ。少年役員團の形成及びその指導には最大の注意が向けられねばならぬ。活動的なピオニールからなる強固なる中心がある場合にのみ $\times \times \times \times \times$ の間に於ける活動が組織

的且つ効果的に遂行され得るのである。学校内支持者の（若しくは被搾取少年の）組織を作
ることは××××である。代表者會議の開催はかゝる形態であつて、その利用はすべて
の組織にとつて緊急な任務である。又學校、工場、或は少年の一定の層のため新聞の發行と
共に規則的に發行される大衆的少年新聞を作る事が必要である。更に又××的競走は、吾々の
少年運動に於てその全組織の活動を昂揚せしめんがために重要な一方法とならねばならぬ。

(二) 少年大衆の間に於ける計畫的活動は、組織の基礎が多數の少年の居るところにある
といふ事を必要とする。それ故先づ第一に、少年が學んだり働いたりしてゐる工場に××が
作られねばならぬ。少年をその居住地域や住宅地に從つて集合せしめるためには、これ以外
に適當の形態が用ひられねばならぬ。少年の全利害及び要求を満足せしむべき任務を有する
ピオニール組織の周圍には、種々なる補助組織の一團を創らねばならぬ。

××スポーツ團體に於ける×××、自由思想家、その他の××的諸組織の組織化に努力す
べきである。同時にこれらの全組織とピオニールの組織との緊急なる協同をなすに適當な形
態を發展せしめねばならぬ。

第四章 日本に於ける少年運動の諸問題

一、プロレタリア少年運動の自然成長性と

其の三要素

我が國に於けるプロレタリア少年運動は、その自然成長的發展段階にいて三つの要素を有
してゐるといへる。即ち吾々は兒童の××スライキに於いてその姿を見出す事が出来る。

一、學校に對する闘争

プロレタリア兒童の學校に對する闘争は、學校の歴史的とも古いものである。此の闘
争の初期に於ける性質は、プロレタリア兒童の、校長、訓導に對する單なる自然發生的な不
平、不満、反抗の爆發したもので、無目的な無計畫なサボタージュ、スライキに終つたもので
あつた。然し、その闘争の成熟につれて、兒童の運動は、次第に父兄の闘争と結びついて而
も兒童獨自によつて行はれるのではなく、プロレタリア父兄の指導のもとに行はれるやうに

その實例を挙げれば、大正十五年、新潟縣木崎村の小作爭議に於ける八百人の兒童の参加や、昭和三年野田に於けるそれ、更に最近に於いては、昨年九月、大島製鋼のストライキに於ける兒童の参加等を示す事が出来る。

××に於ける八百の兒童の盟体

大正十五年、新潟縣木崎村××××××に發生した小作爭議の際、木崎村の小作人の××八百名は小作爭議に参加した。

兒童達は父兄の爭議を勝たせるために、地主やその手先である校長、××に對して、盟休を以つて戦ひ、更に自主的の少年團をつくつて、プロレタリア的訓練をなしつゝ小作爭議の×××××(デモやデントン帖り等による宣傳)に参加して、プロレタリアートの團結の威力を示したのである。

八百の兒童は農民組合の指導者に指導されて、各通學區によつて自主的の少年團をつくり、更に全兒童を團結させ、訓練するために、×××××教育に對立して、プロレタリア學校を創立した。

此のプロレタリア兒童の勇敢な、英雄的行爲に對して、當時、全日本のプロレタリアの同情が集り、遂に賀川豊彦氏を中心とする無産者教育協會が創立され、之を援助する事になつた。

其の他進歩的學生等が獻身的にその教育に参加する者が多く、特に、當時現職に在る在京教員、野口某は、その現職を放擲して此の農民學校へ走せ参じた。

農民學校は××的教師であり、しかも熟練なる技術家である野口を迎へて、農民學校を中心にプロレタリア的教育、訓練を行つた。兒童は大人のデモに勇敢に参加し、更に彼等自身を主體とした××を組織した。彼等はその組織の中に辯論部をつくり、組合の演説會にはその代表を送つて、農民大衆の××××の活動にも参加したのである。

此のプロレタリア兒童の大人にも優る勇敢な闘争に對して××と××の反動は血眼になつて之を壓迫した。地主や××側では、ブル學校の反動教師をして、家庭訪問をなさしめ、その切崩に力を入れたが、何等そのよき効果をもたらす事が出来ず、遂に縣當局は、盟休兒童のかゝる××的傾向に極度におそれをなし、××を總員して××の準備をととのへた。然し

盟体兒童は益々××化して行くばかりだった。××の活動は益々活潑になり、彼等の行動は益々プロレタリア的意識の上に組織されてきた。

其の後學校校舍が××的農民の力によつて出来上り、その輝かしき落成式を見るに到つた。

此の××農民兒童の壯舉——プロレタリア小學校創立——は實に日本プロレタリアートの、否全世界のプロレタリアートの譽であらねばならない。長い間ブルジョア教育によつて壓迫されてきた、プロレタリアートの解放のよろこびの一端でもあつた。

然し、「労働者農民の××××で、その兒童の完全なる解放もあり得ない。」

此の事は長く續かなかつた。××はその晩三百人を動員して、學校を釘づけにしようとした。争議は益々尖鋭化し、××の彈壓はその極度に達した。しかし兒童の團結は益々確く、プロレタリア小學校の基礎は一日と固りつゝあつた。然るに、争議團の内部に於いて非階級的紛争が起り、指導部の多數は××的農民及び兒童を裏切つたのである。そのために學校が解散になり、全プロレタリアの輝かしき企圖も遂に長からずして破壊されてしまつたのである。

る。

兒童はプロレタリア小學校から奪はれて再び村の地主の學校に送られた。けれども彼等の決意は少しも變らなかつた。彼等は××××組織を強固にすることを確く誓つたのである。

野田労働争議に於ける労働者兒童の盟体

昭和三年の暮より約半年に亘つて行はれた野田労働争議に於ける兒童の盟体はその期間から言つても、その組織から言つても實に我が國に於る少年運動の上に特筆すべきものである。野田争議といへば、誰でも直ちに直訴事件を思ひ起すであらう。又暴力團の慘虐を、そして前後三度に渡る硫酸事件を思ひ出すであらう。そして又ダラ幹松岡駒吉の争議賣を、労働者の悲惨なる敗北を、まさに野田争議は我が國に於ける労働争議中の最も長期間に亘る深刻なるものである。

此の争議に關する僅かばかりな資料によつて、當時に於ける兒童の盟体について簡単に述べよう。

一 盟体までの經過

盟休参加兒童は男女共七百參拾九名で、その中五年以上の兒童は少年少女軍に組織された
勞働小年(小女)軍總數

二四一人

男軍

一二二人

女軍

一一九人

男女少年軍は、それ／＼七班に分けられ、班長を選び、總務二名によつて、統轄され、その活動方法は、ピニオールに於けると同様に、兒童の自發的活動を基礎として行はれてゐた少年軍には次の如き任務が課されてゐた。

少年軍の任務

傳令——は本部並びに各集合所の連絡其他爭議團本部傳令の補助

警備——兒童集合の際に於ける秩序保持に任ず

訪問——缺席兒童の家庭を訪問し、××××(ピク)に任ず

街頭——屋外清掃の任につく

少年軍の任務

炊事——爭議團本部並びに各集合所の炊事補助

衛生——屋内衛生の一切

洗濯——闘士の衣服修理洗濯

警備——男子に同じ

街頭——同右

訪問——同右

少年軍の誓

一、我等は誰と共に戦つてゐるか？

父母と共に戦つてゐる

二、我等は何のために戦つてゐるか？

頑迷なる資本家を徹らすために

三、我等はいつまで戦ふか？

××××××

四、未來は？

××××××××

兒童の活動は可成り活潑に行はれてゐるが、兒童に對する教育に就いてはプロレタリア的見地からの教育は全然さけられてゐる事を吾々は見逃してはならない。のみならず、非階級的教育さへ公然と行はれてゐるのである。即ち宗教教育が單に概念的ではなく積極的實踐的に行はれてゐるのである。それは、兒童達は爭議圓滿解決のために神社參拜をさせられてゐた事である。この事はマクスの××××××の中に「一切の宗教は阿片なり」といふ××××の原則的態度に對立するものである。即ち少年軍の指導精神は眞の××主義的なものでなく、むしろ、プロレタリアの假面を被つた社會民主主義的なものであるといはねばならぬ。

此の事は爭議が總同盟の社會ファシストによつて指導されてゐる事を見ても明瞭な事だ。松岡駒吉はその著「野田大労働爭議」に於いて「活潑な、そして純な情操を保持せしむる様極

力努めた」と言つてゐる。即ち彼は兒童の×××、眞の××主義化を阻止した事を自ら曝露するものである。

又教育方法に於いても、その内容に於いても、何等ブルジョア學校や、ボーイ・スカウトに於けるそれよりも、優れた點を見出し得なかつた。

吾々は此處に於いて、我が國に於ける少年運動の右翼化の一端を見る事が出来るのである

四、××の彈壓

(イ) 學校當局の消極的××××

學校當局は盟休兒童の切崩に力を注ぎ、懐柔手段を以つて復校策を講じた。即ち次の文書に於いて、その事が充分に反映されてゐる。

出席通知書

御令女

殿儀本月十六日より引續き欠席致居候へ共右者兒童教養上支障不尠に

付き至急出席せしめられ度小學令施行規則第九十二條により此段及通知候也。

當局は先ず公則を従にとり、いさゝか威壓せんと試み、その効なきを知り、更に懐柔手段を以て盟休を防止せんとし次の如き手紙を各父兄に出した。

拜啓

争議も思ひの外長引きまして、皆様にも定めしお困りの事と深く御同情いたします。お宅のお子さんも一月十六日から引續き學校を休んで居りますが、この學年もいよいよ残り十日餘りになりました。今まで休んで居るのさへお氣の毒だと考へて居りますのに、この先續けてお休みになると四月には上の級に進めず、一年損をするやうなことになります。學校では皆さんの苦しい立場も察して居りますから、出来ることなら何とかして、一人残らず進級させてあげたいと思つてゐますが、それでは國の掟が立ちません。お子さんの可愛くない方は一人もごさいませぬ。その可愛い、お子さん達に一年損をさせるかさせないかは皆様の御決心一つにあるのです。組合の相談で自由ときまつた上は今から一週間なり十日なり學校へ出て下されば學校は喜んで進級させるやうに盡力いたします。

どうぞ大事なお子さん達のため、又學校の苦しい立場もお考へ下すつて、御決心の上、一日も早、學夜にお出し下さる様吳々もお願ひ申します。學校では教師も子供も手を擴げてお子さんのお出でを待つてゐます。

昭和三年三月七日

野田小學校長 松山 隆
保護者各位

(ロ) 野田警察署の彈壓振り

野田警察及び縣當局は何等之に彈壓らしい彈壓を加へようとしなかつた。此の事は争議指導の性質から充分推察される事である。ダラ幹松岡は、兒童の神社參拜を警察が禁止したのを「横暴なるダン壓」と言つてゐるが、むしろ吾々は横暴なる××よりも松岡の兒童に対する非階級的指導態度をにくむべきである。

かゝる當局とダラ幹とのダ協的、争議取引の仕込みによつて、盟休は争議の賣り渡される

時まで続けられた。

四月二十日争議は幾千圓かで松岡の手で賣り渡されたといはれてゐる。そして兒童も又ブルジョア學校に再び送り返された。

松岡は争議は解決したから盟休を解散しなければならぬと當局の提灯を持った。然し、争議は敗北に於いて解決したので、労働者の要求が貫徹されたのでもない、故に争議は尙繼續するべきであつた。そして又兒童の盟休も労働者の要求の全部の解決するまで勇敢に繼續するべきであつた。

野田の争議に於ける兒童の鬭争の性質はその参加人員から、盟休の期間から言つて、我が國に於ける少年運動の上に可成重り大な意義を持つものであるには拘らず、遂に眞のプロレタリア少年運動の正しい發展を悉く阻止され、曲否されて、遂に社會民主主義的傾向にまで轉落した事を吾々は大いに遺憾とせねばならぬ。

此の事は我が國に於ける労働運動に於ける左翼の力の薄弱なる事を證明するものである。まさにプロレタリア少年運動も又左翼の正しい指導の上のみその正確なる發展を保證され

得るものである。

争議の解決後、その翌日、盟休兒童の解散式が行はれた。だが兒童は解決を心から喜んだであらうか、兒童は敗北の原因をよく知らなかつた。しかしあくまで鬭争する事を確く誓つたのである。

「私達は飽くまで父兄の意志を繼いで野田の組合を再興する事に努めます。」
此れが××の悲壯な決意をもち解散の言葉であつた。

(ハ) ××製鋼のストライキに於ける盟休兒童の××的活動

昨年の九月、東京×××××のストライキに於ける、プロレタリア兒童の勇敢なる活動は、我が國に於ける少年運動の上に多くの教訓をのこした。

特にその間に於けるプロレタリア小學校の創立は我が國少年運動史上特筆すべきものであらう。

當時東都にゐた筆者は、特に此の事件について深き注意を拂ひ、實地參觀と、諸機關よりの資料を得て、こゝにその轉末の概略を述べる。

丁度小學校は夏季休暇だつた。争議團の子供達は争議團本部に遊びに来た。それに附近の子供も加つて来てその数は次第に増加した。子供達はいつの間にも労働歌を一人で歌ふやうになり、大人の任事の手傳をするやうになつた。

九月に入つてつてから、争議は益々××を極めた。演説と××は毎日のやうに行はれた。兒童は之を目撃してだまつてゐたであらうか。運動場の隅に××歌が高唱され、××××の行進が行はれた。××は譴責と禁止を以つて××したが兒童達は益々××××になるばかりだつた。

争議團は兒童の自然發生的な××を取り上げて之を組織し、以て争議の勝利への一戦術に利用せんとして兒童の××を斷行する事を決議した。かくて遂に六十餘名の兒童の盟休参加を見るに至つた。

争議團は更に之の××兒童を組織するため少年對策委員会を持ち、かくして労働争議に於ける我國最初のプロレタリア××××を創立したのである。

此れに關して争議團は全日本のプロレタリアートに次の如き聲明書を以つて訴へてゐる。

聲 明 書

××××××××の産業合理化は労働者の生活を全く破滅に導いてゐる。賃銀値下、首切強制、休業、臨時工制度等に反對する労働者の××は全国的に渦巻きかへつてゐる。

俺達も八月四日狂暴なる挑戦に對してストライキを敢行した。抗争既に四十餘日、争議團は鐵の如き決死の勇氣を以て戦ひつゞけてゐる。單に争議團のみではない。家庭も俺達と同じ戦線に立つて勇敢に戦つてゐる。

他工場の労働者との提契も進み既に同系工場中に大ストライキに入らんとしてゐるものもある。その他多くの工場労働者諸君の應援は吾々の背後に強固な力を作つてゐる、争議團員家庭労働者同志のこの強き協同の力は必ず近きその日に悪資本家大川平三郎を徹底的に屈服せしめ得る事は明かである。

俺達は資本家階級と戦ふためには一切の勢力をあげて手段の限りを盡して戦はねばならぬ。争議團員が堅き決意を以て××を休校せしめたのもその爲である。親が生死の問題のた

すさみ一々本部に報告し、地方到るところに激烈なる文句の宣傳ビラ（例へば『××が下つた、各人××せよ』、『弓削も起つた、久米も起つた、全国的に捲き起せ！』、『久米の同志が奪はれた皆××出何たか』、『差別教員今井一味、池上校長、川島村長を徹底的に××××××無責任なる縣當局を大衆の名によつて××××』等を）貼り、日々新しいスローガンを發表して事態の頗ぶる重大化を思はせるに至り、大演習に参加すべき筈の市場加美署長は一人御警備の任を外れて任地にあつて、極力争議を凝視してゐるが、既に水平運動を超越して主義の傾向あるものとして演習終了と共に本件に關する××の態度は積極化するもの如く見えた六日大阪に開かれた第九回全國大會には野崎氏（指導者）は兒童三名を伴ひ出席し、兒童からその経過を報告した。（山陽新報十二月八日の記事による。傍點筆者）

此のブル新聞のあまり信頼出來ない記事によつても、此の兒童の盟休の情況と性質が充分推測出來る事と思われれる。

××の壓迫は益々激しく、争議は××××にまで發展したのである。かくて××と争議團の對立は益々××××、その間に於いて××××××の訓練は益々強硬になつた。

更に此の××の盟休は益々發展して、隣村に大きなセンセーションを起し、之に對して××××が方々に起つた。隣村の大倭村柳部落に於いては、その協議會が持たれ、十二月十一日を期して同村公正小學校兒童八十名は××を以て、大久保兒童の××を應援する事になつた。

かくの如くして此の兒童××は益々發展し、益々社會的重大な意義を持つやうになつた。

其の後の轉末について、委しい情報を得る事が出來ないので、正確なる報告をなす事は出來ないが、簡單な新聞の報導によつて大略を知る事が出来る。

『決死的××百餘日、その間敏速にして勇敢な××××××（少年團）は、氣狂ひじみた暴力的××××××××、ガンバリ續けた多くの同志の活動によつて、漸く勝利的解決をみた。岡山縣學××××××は、表向き解決したるが如き状態におかれてはゐるが、その後において陰險な××の手が延ばされすでに九名の同志が、起訴された。』三月三日發行の「水平新聞」

更に「社會運動通信」二月二十五日の記事には七十名以上の男女同志に××××××××來つた事を報じてゐる。

に努力すること。

(4) 『××××』を充分批判し活用し、我等のものとすべく努力すること。

(5) 教育労働者組合と連絡を持つて彼等に仕事を與へてやらせる事。

〔農民闘争〕一九三〇年、十月號記載の全農青年部代表者會議報告による〕

かくて全國に於ける農民組合は青年部の中に少年部を組織し、その實際的指導に移つたのである。

山梨に於ける落合、里吉のピオニール、秋田に於ける河村のピオニール、宮城に於ける豊里のピオニール、埼玉に於ける潮止、東京に於ける青砥、水元のピオニールが結成された。

更に労働者組合に於いて少年部が創設され、和歌山田邊のピオニール、東京大島のピオニール、神奈川川崎のピオニールが結成された。

又消費組合に於いても、去る三月に開かれた、關東消費組合聯合總會に於いて、少年部の問題が提案され、決議された。

一、落合少年部設立に関する件

提案者 落合消費組合

各組合に少年部を作れ

提案理由

×××××の矛盾の×××と階級闘争の激化に伴ひて資本家、地主階級は、總ての×××××しての反動化に死物狂ひである。即ち反動青年少年團の設置と、それによる教育である。吾々は彼等資本家地主階級と決定的闘争を遂行し、勝利を確保するためには、當然彼等の組織せる×××××××、吾々より組織化せる陣營を持つことは極めて重要である。

このことは、吾々の消費組合運動に於いても強調されねばならぬ。即ち現在特に少年の啓蒙運動との組織に當ることは、吾々の重要な運動の一つである。

少年部の設立は組合活動の促進、擴大強化にも極めて役立つものである。

次に其の組織形態の具體案を示せば、

構成

一、編成部員

組合員を父兄とする少年を中心として一般無産者の少年に依り編成する

二、少年部委員會

少年の自主的活動、少年の集團的訓練のために、少年部員の中から選出す。之によりて少年部員の統率がなされる

三、指導委員會

指導機關として組合理事、少年部員の父兄若干と専任教育者よりの参加を以つて構成される。委員會は定期的に持たれ、少年部指導に當る。従つて、指導委員會の父見會をもち、組合員又は他の文化團體からの適當な専門教育者を必要とする

四、指導

無産階級の立場から指導する

五、任務

廣汎なるプロレタリア少年大衆をして彼等の階級的地位及び××××の必要性を理解させることを任務とする

勿論之は一般的な案で、各組合の状況、事情に応じて適當に變へ得るものである。

更に組合少年部は組合の内部組織に止めず、之を無産者少年團（ピオニール）にまで發展せしむべきである。

かくて我が國に於けるプロレタリア少年運動は、やうやくその正しき認識の上に、意識的發展に向ひつゝあるのである。

三、ブルジョア少年團の××××××

我が國に於けるブルジョア少年運動は、第一次世界大戰後、プロレタリア運動の急激なる發展と英國少年團の大戦中に於ける軍事的活動の恐るべき成果とに刺戟されて創設され、爾從恐るべき發展を遂げて來たのである。更に最近に到つては、その超現實的、ロマンチックな欺瞞的外被をすて、益々ロコツに×××として來たのである。東京市電のストライキには××青年團のスキップ共の活動に参加し、又ブルジョアのファッション共の一般的闘争（××××××××××××）に積極的に参加するに到つたのである。

第二次××主義戦争の接迫した現段階に於いて、ブルジョアジの××××のために、ブルジョア少年團の活動も又重要な意義を持つものである。

吾々はその現段階に於ける、又決定的時期に於ける役割、活動をその歴史的發展に於いて見出さなければならぬ。

東京聯合少年團及び少年團日本聯盟の發生とその任務

日本に於ける××××的少年團の出來たのは、第一次世界戦争のすんだ大正三年である。當時に於ける客觀的情勢は、ブルジョア××××の創立者である小紫博氏の次の如き認識に於いて反映されてゐる。

『戦争は終つた。之で國民的思想も稍平靜になるだらうと思つてゐた所が、事實は反對益々その動搖甚だしく、一層不安、戦争中各種の武器の脅威を受けてゐたのが、戦後に於いてはその形を變へて、各種の思想、思潮、となつて脅威を受けつゝある。此の不安に對して、何人も思ひ到る事はその國家であり、國家の將來である。』(小紫博「日本の少年團」)

當時、我が國に於ける労働運動は、すばらしい發展をとけ、その左翼的發展によつて、又

インテリゲンチヤ層の一般的××××によつて、ブルジョアジを脅威せしめた事はいふまでもない事である。

我が國に於けるブルジョアの少年團もかゝる客觀的情勢のもとに、國民の一般的左翼化に對してブルジョアジの堤坊として、創立されたのである。

ブルジョア少年團の發生の諸原因とその任務に關して、小紫は更に次の如く言つてゐる。

『いふまでもなく、國家の將來を双肩に擔ふのは、現代の少年である、現代の少年が將來に於いて、悉く良市民となり、健全なる市民となり、寄せては返す世界の各種の思想に順應し辛苦艱難に處し得ると決定してゐれば問題は根本的に消滅するのである。然し少年は精神的に肉體的に抵抗力が少ない。意志が薄弱で社會的感化を受ける事が大である。』

然かも社會は悪化してきた。一般國民の指導も重大であるが、次代國民の指導が一層重大である。社會狀勢がかく變化してゐるにも拘はらず、之に對する少年の社會的教化的施設は依然として、舊態であることは、現代社會に對する策の得たものではない。少年の最も必要な施設を必要とする唱導には、蓋し、此の現代の缺を補はずにはおかない。

少年團は重大な使命を持つ現代社會の教化的施設である』(前同)

更に少年團の積極的意義、任務について彼は更に次の如く言つてゐる。

『世界戦争に於ける戰勝國として一躍一等國に勝ち得た日本は×××………中略………』

…此の絶對の報恩を感謝し實現するために第二の國民に確乎不拔の愛國的情操と奉公の精神を鼓吹しなければならぬ。

國家將來のために、世界平和のために、少年の社會的施設として少年團の必要を提唱しなければならぬ。』(前同、傍點は筆者)

即ち、少年團の使命は明かに××主義を維持し發展させるための×××意義を持つものであることは之によつてか明である。

此の××性質に關して、少年團の軍隊の關係に於いて、氏はより明瞭に説明されてゐる氏はその事に關して次の如く述べてゐる。

『現今の不規律なる家庭生活や、社會風教を改善するには××的精神を加味して教育することが、最も効果ある事です。之等は國防上、國民教育上、社會教育上甚だ遺憾な事であるか

らこれを少年時代から訓練する必要があり、××との密接な關係が必要であります。』(前同)

彼は少年團の××的性質を辯護し、合理化し、基礎づけるために國民教育、社會教育、國防を以てし、更にその××的方法が、子供に最も適してゐる事を宣傳してゐる。

正しく少年團は發生の當所から全くの××的、反動的なものであつた。

吾々は此の少年團の××性質をその綱領と創立に努力した名士によつて更に明確に認識する事が出来る。

日本少年團の綱領

第一、××××××××、日本男子の本領をつくすべし

第二、吾等の名譽にかけて我等の義務を果すべし

第三、心身を鍛練し、常に準備ある人となるべし

少年團の徳目

忠義、孝行、敬虔、義務、奉公、親切、協同、服従、質素、節約、勇敢、進取清潔、

少年團の創立後援者

後藤 新平(前少年團長)

伊崎良照(將軍中將)
林 博太郎(帝國教育會長)
大迫元 繁(元東京市社會教育課長)
渡邊水 龍(陸軍中將)
丸山 鶴吉(書院總監)
櫻井忠 温(戰爭文學家)
久留島 武 彦(ブルジョア童話大家)
吉岡 彌 生(社會事業によつてブルになつた女醫)
等、其他數十名の反動的な名士數多。

(小柴博「日本の少年團」附記より)

二、現在の勢力

我が國に於けるブルジョア少年團は、かゝる情勢のもとにブルジョアジーや、社會ファシストの絶大なる後援によつて大正三年、東京市浅草に於いて僅か四五十名の少年を以つて創立された。間もなく東京聯合少年團が組織され、更に全国的にその結成がなされて今日に到

つたのである。

現在に於いては全國到るところに於いて、更に海外に於いて、植民地に於いて、その組織を持ち、國內外、植民地を抱括する、少年團日本聯盟の数は實に、七百三十二、そして總員數は七萬千九百二十人である。

更にその最高幹部は文部省の役人、軍人、社會事業家及び資本家によつて組織されたところのブルジョアの及び社會ファシスト的基礎の上に發展をとげつゝある。

最近に到つてプロレリア少年の×××及び運動の×××に刺激されて、ブルジョア少年團も従來の消極的、平和的、プチ・ブル的面被をかなぐりすててその積極的方向轉換を試みるに至つたのである。

即ち、一九三一年一月十日、時あたかも陸軍の入營日に當つて、東京市長永田秀次郎の主張の下に、東京市役所給仕を以つて組織する清和健兒團が創設され、更に銀行、會社デパートを中心とする組織の擴大が計畫された事である。此の組織の基礎は勞働少年を組織することであり、プロレタリア少年運動に對する意識的對立の表はれである。

更にブルジョア少年運動は小學校を基礎としての組織擴大が強調され、最近東京市中の十數の學校に於いてブルジョアの反動教員の指導の下に試みられてゐる。

かかるブルジョア少年運動の決定的方向轉換は、プロレタリア運動の×××とともに、戰爭の危機とともに我が國に於ける少年運動の上に重大なる意義を持つものである。

四、社會民主主義的青少年團の全國的結成

我が國に於ける労働運動は、プロレタリア少年の自然發生的闘争の成長によつて、やうやく近時その問題を眞面目に取り上げ、その組織化を緊急なプログラムの一つに入れて來た。殊に農村に於ける少年運動の恐るべき發展に刺激されて、都市労働少年のプロレタリア的運動はやうやくその一步をふみ出さんとしてゐる。

こゝに於いて、社會ファシストは、プロレタリア少年の×××を阻止することによつてブルジョアに奉仕せんものと、合法的活動を拒否されてゐた××の困難に乗じて、××の擁護の下に一舉にプロレタリア少年の全國×××を試みた。

吾々は社會××××的少年組織を昭和三年野田の争議に於いて見る事が出来る。そしてその性質が如何なるものであるか、方法が如何なるものであるかを、そして、その目的に於いても、又方法自身に於いても何等××的ではない事を知つてゐる。そしてそれはたゞプロレタリア闘争の×××を表現するものに他ならぬ事を知つてゐる。

去る一九三〇年十一月十六日、大阪に於て開かれた、労働組合總聯合總會は、少年工（十四歳—十六歳）五百三十七名を總聯合の下に組織し、更に一九三一年十月を期して、全國的結成を試み、二千名の少年労働者獲得をそのプログラムにあげてゐる。

吾々は労働運動の最も尖鋭化してゐるドイツに於ける社會ファシスト的青少年團（十萬の少年を擁す）を知つてゐる。そしてその社會的に果しつゝある役割を知つてゐる。

我が國に於ける社會ファシスト的青少年團も又、ドイツのローテルファルグの如く、××的プロレタリア運動の×××とともに、ブルジョア少年團と共に××××××の利益のために奉仕するものである事が充分豫測されるのである。



昭和六年五月十四日印刷
 昭和六年五月十九日發行

無産少年運動 奥附

定價金五拾錢

著者 田部 久

發行者 伊藤 三郎
東京市神田區今川小路一ノ三

印刷者 岩崎 由之助
東京市神田區今川小路一ノ三

發行所

白鳳社
東京市神田區今川小路一ノ三
 電話九段二四五番
 振替東京八一〇三番

(刊新最) 纂編所役市京東

- ▲抽象的理論から實證的研究へ
- ▲統計的事實は百千の議論にまさる
- ▲質屋調査に關する空前の收獲
- ▲正鵠な記述と的確な數字
- ▲官公署・學校は勿論
- ▲諸實業團體・學生
- ▲質屋營業者
- ▲無產者金融問題研究者必讀の好著

無產者金融機關としての質屋の研究

目次大要

- 質屋の特質と機能……………
- 質屋の組織並に取引方法……………
- 日本に於ける質屋の沿革……………
- 質屋の起源並に質制及出舉の制……………
- 鎌倉時代に於ける質業……………
- 室町時代に於ける質業……………
- 徳川時代に於ける質業……………
- 明治時代以後に於ける質業……………
- 震災前後に於ける東京市内外質屋業の趨勢……………
- 震災の打撃と復興の遅延……………
- 東京市内に於ける質屋の利用方法……………
- 貸出高……………
- 全市貸出總高……………
- 公益質屋と私質屋……………
- 公益質屋貸出受戻流資及貸出年……………
- 私質屋貸出受戻流資及貸出年……………
- 末現在高累年比較……………

頁餘百二文本組トンイボ九本美入函製上入字文金ス1ロク總判六四
入挿葉五十二込折版大表圖計統・入挿葉五込折版大刷印版石・繪口

(錢二十料送) 錢拾五圓壹一價特

トックツブ學科會社

(6)	(5)	(4)	(3)	(2)	(1)
マルクス主義と兒童文學	無產少年運動	歐米の勞働運動	レーニンの亡命生活	日本封建社會史	マルクス主義と歴史
四六判 160頁	四六判 150頁	四六判 220頁	四六判 150頁	四六判 190頁	四六判 180頁
價50錢 送料6錢	價50錢 送料6錢	價80錢 送料6錢	價50錢 送料6錢	價60錢 送料6錢	價60錢 送料6錢
榎本楠郎著	田部久著	淺野研眞著	石ア 川ソ 一湧 譯著	櫻井庄太郎著	遠ク 藤ラ 一 郎ク 譯著

【以下續刊】

ロシア革命映畫

ルナチャルスキー序・吉井虹二譯

ソヴェート政府は工業的藝術品としての映畫の偉大さを認め斯界屈指の七曜星とも言ふべき映畫監督を擧げて専心完成に向はしめ茲に大成した。

ロシア映畫は熱狂的予言的な性質を有ち、他面凄惨な革命的獨創性を有つてゐる優秀非凡な監督の技術はイデオロギーを透し世界映畫界に肉迫せんとしてゐる。誇張なきロシア映畫は劃期的紀念碑として今や樹立した。

映畫目次

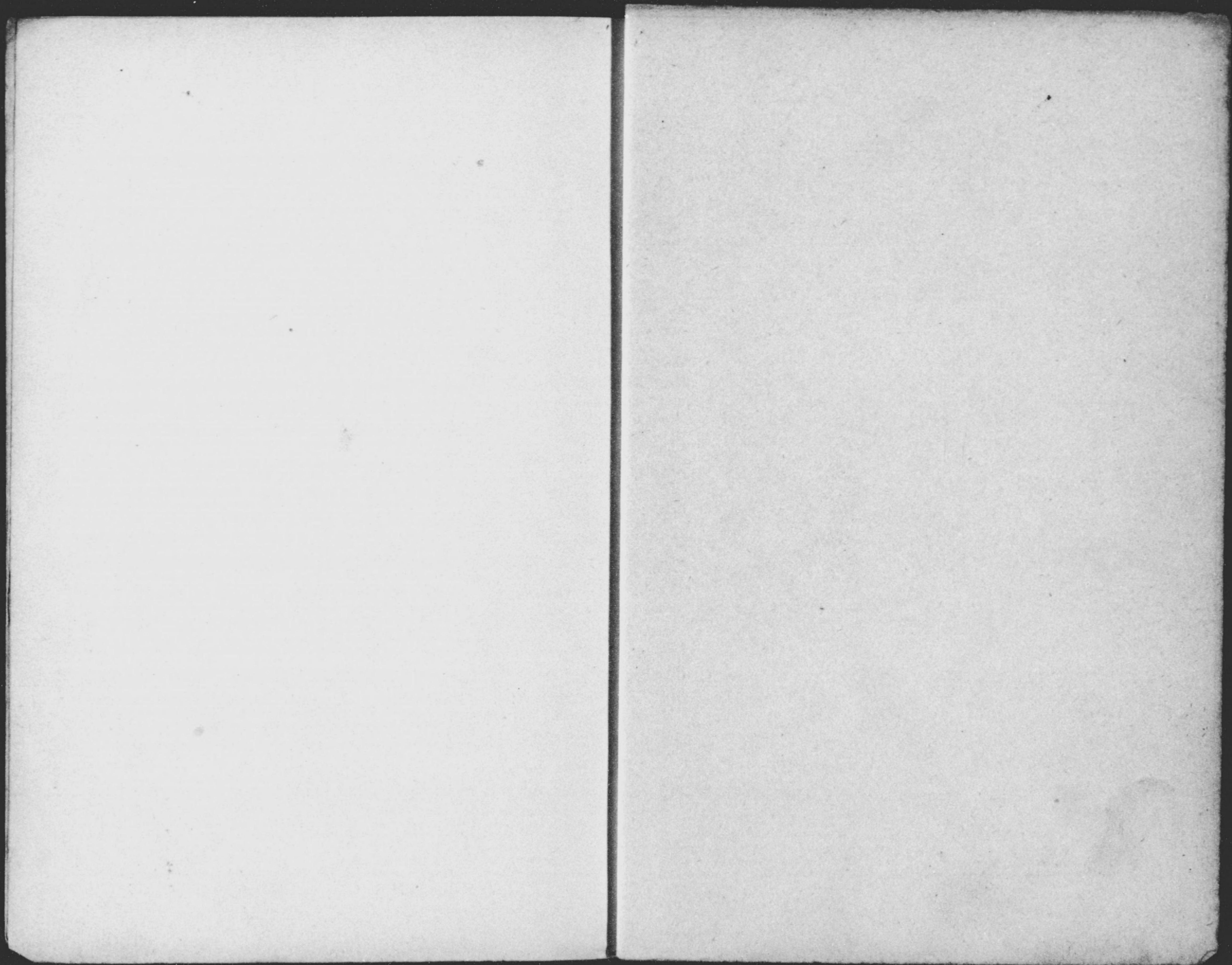
全線
新らしいパピロン
郵便局長の娘
母(ゴリキヤ作)
カザンタイキ
聖ペートルの猛火
世界を震撼させた十日間
水夫の笑ひ
泣き笑ひのモスコウ
無鐵砲者イヴアン
四十一ヤの嵐(名ジンギスカンの末裔)

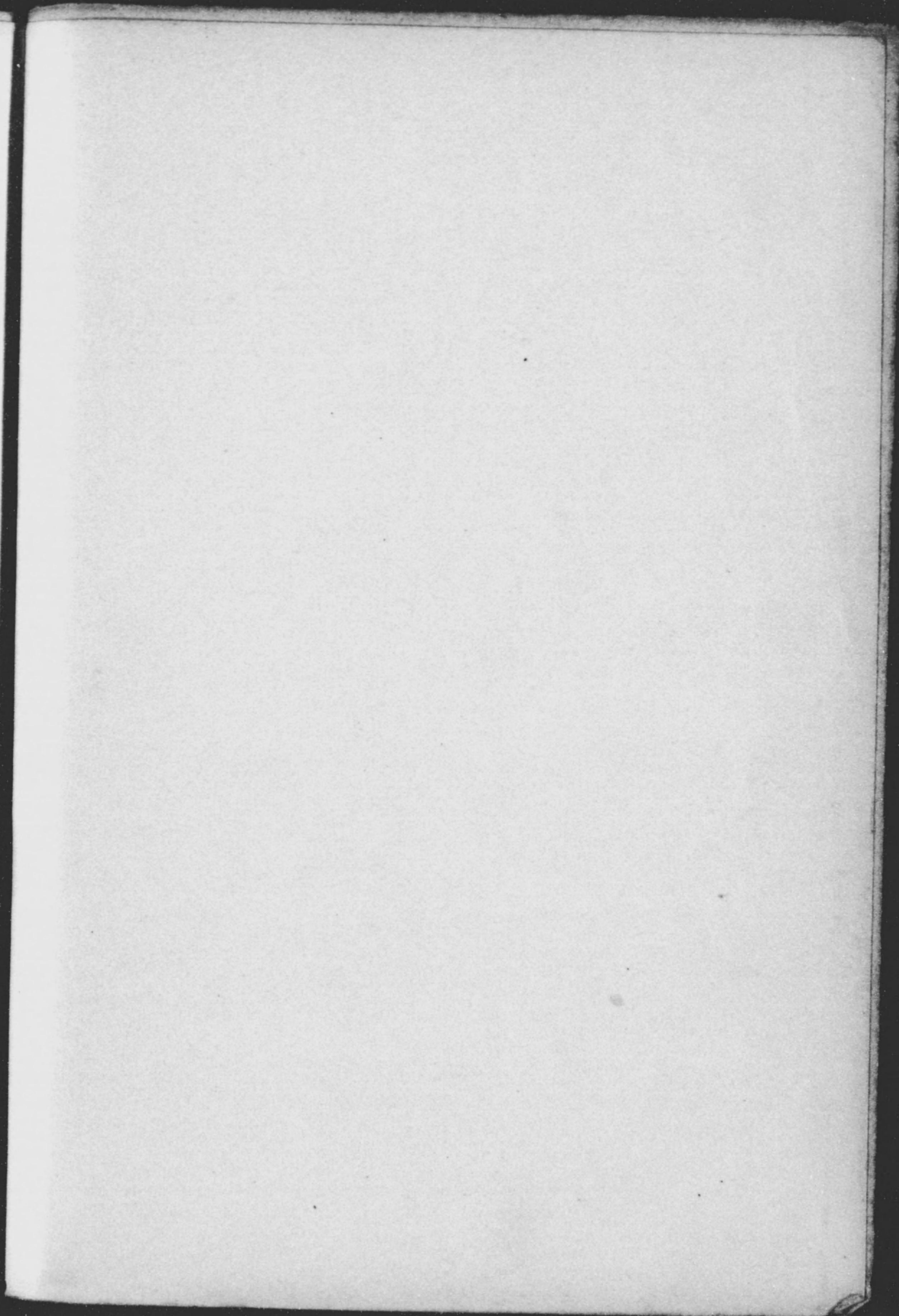
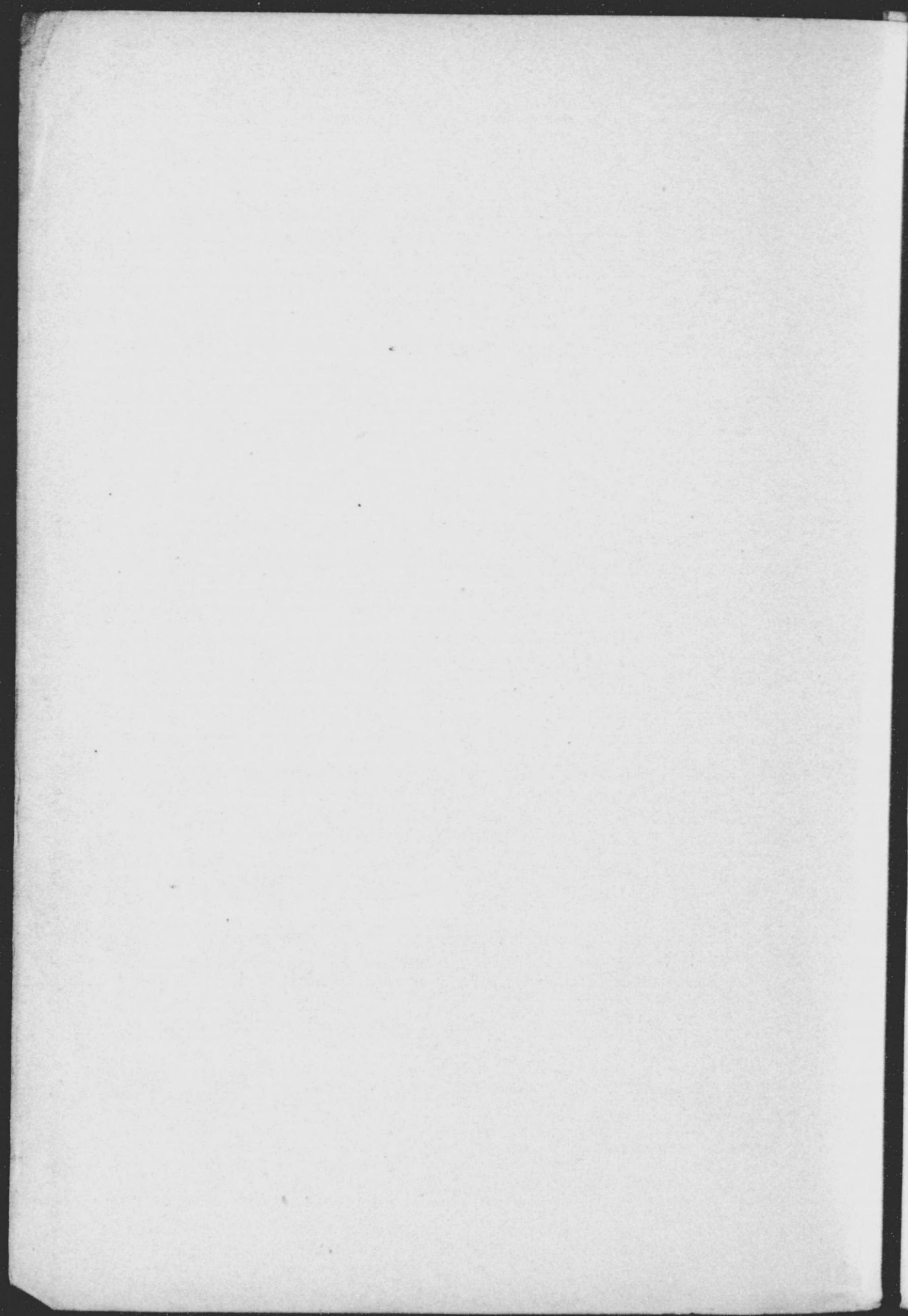
映畫明説の一萃

プロウキン監督は先づ、線かそのアツジヤ小藝てヤ
民の配分を大なる動かし、
藝術的完全の私的監督を
さるる人々、この毛皮なる
シヤル、あ、軍除こが彼
も、大なる守、始、と、恩
國、燕、王、服、に、取、わ、か、
併、ぶ、リ、グ、ヤ、燕、國、の、
や、引、ぶ、リ、グ、ヤ、燕、國、の、
併、ぶ、リ、グ、ヤ、燕、國、の、
ジ、ヤ、嵐、の、風、雨、が、お、こ、る、
ア、シ、ヤ、の、嵐、の、風、雨、が、お、こ、る、

錢八料送 錢拾六價半版定限部千壹

判六四頁寫・頁〇四文本・本美製上判六四
錢拾二圓一價定 入挿葉五拾七





613
45

大

2008

50セン